Panasonic

施工説明書

アラウーノ専用手洗い（キャビネットタイプ／連動水栓）

■品番

便器設置	標準・10cm 前出し
本 体	GHA7R2EL(R) GHA7R2EL(R)X
扉	GHA1T2 □□ GHA1T2RR/GHA1T2LL
カウンター	GHA7RC(Z)□EL(R) GHA7RCLWEL(R)X
給水ホース	CHA7R01(2)E

R：R 仕様　L：L 仕様　□：色品番

1：止水栓位置が手洗い側　2：止水栓位置が手洗い反対側

●施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。
特に「安全上のご注意」(2ページ)は、施工前に必ずお読みください。

●施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことによる事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。
また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

●取扱説明書、施工完了チェックリストは必ず必要事項を記入のうえお客様にお渡しください。

●対応するアラウーノの機種をご確認ください。

●便器を取り付ける前に「アラウーノ専用手洗い」を先に取り付けてください。

●この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

もくじ

安全上のご注意 …… 2
施工前の確認 …… 3
各部のなまえと同梱部品 …… 4
寸法図 …… 6
配管接続図・電気線接続図 …… 7
施工チャート …… 8
施工手順 …… 9
1 止水栓の取り付けと床工事 …… 9
2 部材の加工 …… 9
3 カウンターの取り付け …… 12
4 キャビネット・手洗いボールの取り付け … 16
5 排水管、電気線、給水ホースの取り付け … 18
6 便器の取り付け …… 29
7 電気線の接続 …… 29
8 仕上げ …… 30
9 扉の取り付け …… 33
10 アラウーノ本体との連動と試運転 35
11 配管カバーの取り付け …… 38
施工完了チェックリスト …… 40

施工前に

施工手順

施工手順を動画で見る
https://www.youtube.com/watch?v=9nvJK-IFFDI

安全上のご注意 必ずお守りください

◎人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

禁止

- **バスルームなどの湿気の多い場所に設置しない**
  感電や火災の原因となります。
- **分解・改造はしない**
  感電・火災・けがの原因となります。
- **屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には施工しない**
  本体が破損し、発火や発煙の原因となります。

禁止

- **電気線に水や汚水をかけない**
- **ぬれた手で電気線を触らない**
  感電の原因になります。

必ず守る

- **アラウーノ本体の電源プラグが入っていないことを確認して電気線を接続する**
  感電の原因になります。

⚠ 注意

禁止

- **給水ホースに強い力を加えない**
  破損により水漏れの原因となります。

必ず守る

- **施工後は必ず試運転し、配管に水漏れがないか確認する**
  水漏れ、拡大損害の原因となります。
- **施工後は必ず扉のがたつきがないことを確認する**
  落下によるけがの原因となります。
- **壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する**
  転倒・落下によるけがの原因となります。
- **施工時は製品の転倒に注意する**
  けがの原因となります。
- **壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する**
  十分な強度がない場合は、12mm 以上の合板で補強する
  転倒・落下によるけがの原因となります。

必ず守る

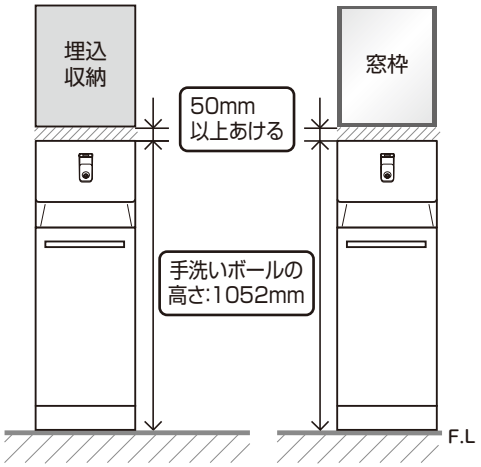
- **ねじ頭が飛び出たままにならないように最後までしっかりとめる**
  配管を傷つけ、水漏れの原因となります。
- **ゴム接続管にしわができないようにホースバンドを締めつける**
  水漏れの原因となります。
- **水道工事は、関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」が行う**
  水漏れの原因となります。
- **上水道に接続する**
  故障・肌のかぶれの原因となります。
- **凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う**
  水漏れなどで家財などに損害を与える原因となります。

施工前の確認

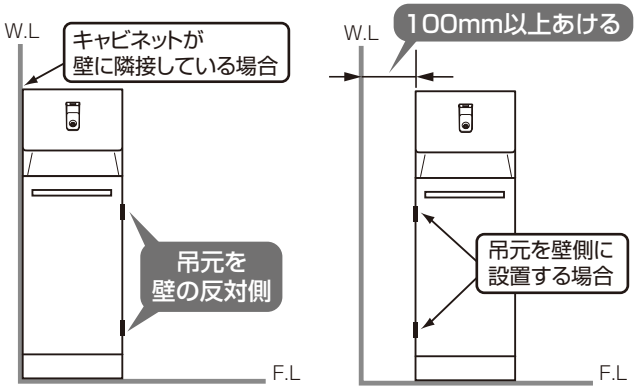
（寸法単位：mm）

- **使用水圧範囲は、0.1MPa（流動時）～ 0.75MPa（静止時）です。**
- **ミラーや収納を併設する場合、手洗いボールから先に施工してください。**
- **止水栓および便器は、この製品に含まれておりません。別途お求めください。**
- **製品を固定する壁面は平らに、かつ床面に対して垂直に仕上げてください。幅木などがある場合は、建築側と調整し、製品が壁面にすき間なく固定できるようにしてください。**
  壁面が平らでない場合、製品が変形し、扉面に著しい段差が生じることがあります。
- **手洗いボール上部は必ず 50mm 以上あけてください。**

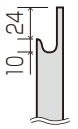
収納やミラー、窓枠を併設する場合



- **本書は L 仕様の場合のイラストで説明しています。R 仕様の場合は対称となります。**
- **便器を先に取り付けると排水管が接続できなくなります。必ず、先に排水管を便器に接続してください。**
- **直射日光のあたる場所には設置しないでください。**
  変色するおそれがあります。
- **湿気の多い場所には設置しないでください。**
  腐食するおそれがあります。
- **扉が壁にあたらないよう、扉の吊元やキャビネットの設置位置を確認してください。**



GHA1T2RR/GHA1T2LLの場合
扉の上端の形状が異なります。



改訂履歴

改訂年月	No.	改訂ページ	改訂内容
2021 年 2 月	1 版	26 ～ 28 36 ～ 37	アラウーノ CH160 と接続の場合を追加。
2022 年 7 月	5 版	表紙	扉品番 GHA1T2RR/GHA1T2LL を追加。
2023 年 11 月	6 版	4～5, 20～22	クイックファスナー A/B をクイックファスナー 大 / 小 / カバー付き に変更。
2023 年 12 月	7 版	5, 33	キャビネット扉の取っ手の仕様を変更。

各部のなまえと同梱部品

⚠注意

必ず守る

● **施工時は製品の転倒に注意する**
けがの原因となります。

本体キャビネット

番号	部品名称		入り数	
1	手洗いボール(給水栓付)		1	
2	ボール取付金具		1	
3	キャビネット		1	
4	底板		1	
5	幕板		1	
6	給水弁ユニット		1	
7	電気線(黒色)		1	
8	電気線(灰色)　L=620		1	
9	中継用電気線(灰色)　L=2200		1	
10	排水トラップ		1	
	11	テールピース	1	
	12	Uトラップ	1	
	13	PS管	1	
14	ねじセット		1	
15	エルボ管		1	
16	L管		1	
17	導入L管		1	
18	配管取付フック		2	
19	ゲージA		1	
20	ゲージB		1	
21	ゲージC		1	
22	ゲージD		1	
23	クイックファスナー大		1	
24	ファスナーロック		1	
25	クイックファスナー小		1	
26	クイックファスナー(カバー付き)		1	
27	取扱説明書		1	
28	施工説明書(本書)		1	
29	注意シール(給水弁用)		1	
30	結束バンドA		1	
31	結束バンドB		3	※1
32	コネクタケース		1	
33	穴隠しキャップ		6	※2

カウンター

番号	部品名称	入り数	
34	取付プレート(横)	1	
35	取付プレート(縦)	1	
36	取付プレート(奥横)	1	
37	カウンター	1	
38	L字金具	4	
39	金具カバー	4	
40	配管カバー(横)	1	
41	配管カバー(縦)	1	
42	配管カバー(奥横)	1	
43	ゴム接続管(ホースバンド付)	1	
44	塩ビ管	1	
45	延長排水管	1	※3
46	配管カバーキャップ	1	※3
47	警告シール(配管カバー用)	1	

扉

番号	部品名称	入り数	
48	扉	1	
49	取っ手	1	※2
50	丁番台座	2	

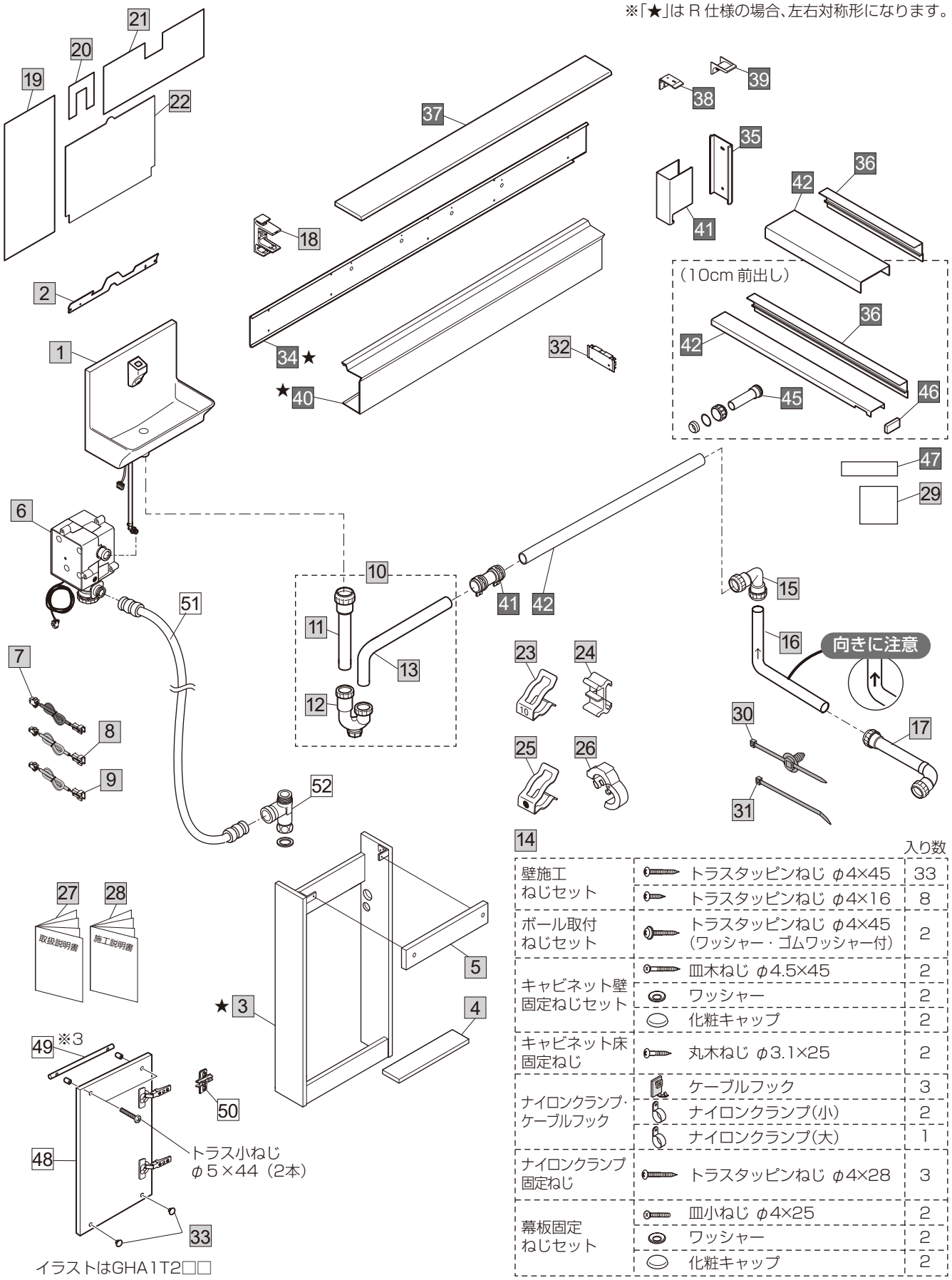
給水ホース

番号	部品名称	入り数
51	給水ホース	1
52	分岐管	1

※ 1：R 仕様の場合、2 本使用します。
※ 2：GHA1T2RR/GHA1T2LL の場合、同梱されません。
※ 3：10cm 前出しの場合のみ

（寸法単位：mm）

※イラストはL仕様の場合です。
※「★」はR仕様の場合、左右対称形になります。



イラストはGHA1T2□□

14

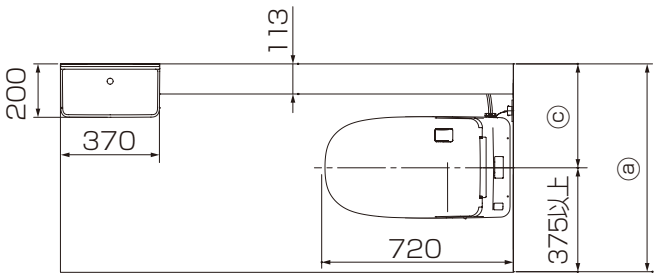
		入り数
壁施工ねじセット	トラスタッピンねじ φ4×45	33
	トラスタッピンねじ φ4×16	8
ボール取付ねじセット	トラスタッピンねじ φ4×45（ワッシャー・ゴムワッシャー付）	2
キャビネット壁固定ねじセット	皿木ねじ φ4.5×45	2
	ワッシャー	2
	化粧キャップ	2
キャビネット床固定ねじ	丸木ねじ φ3.1×25	2
ナイロンクランプ・ケーブルフック	ケーブルフック	3
	ナイロンクランプ(小)	2
	ナイロンクランプ(大)	1
ナイロンクランプ固定ねじ	トラスタッピンねじ φ4×28	3
幕板固定ねじセット	皿小ねじ φ4×25	2
	ワッシャー	2
	化粧キャップ	2

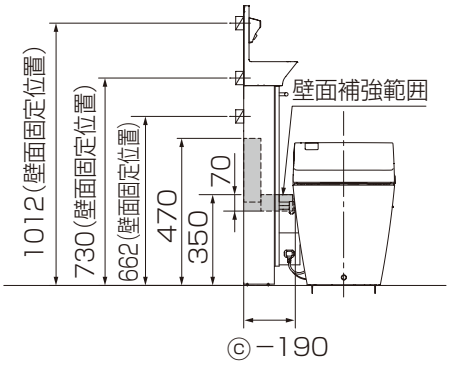
寸法図

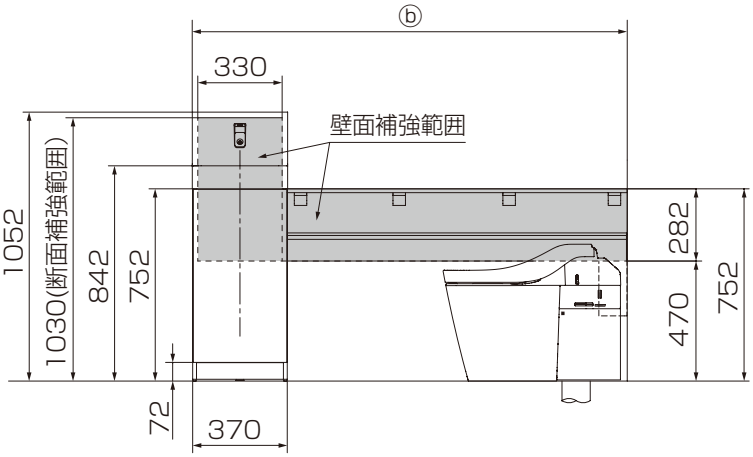
（寸法単位：mm）

イラストはＬ仕様の場合です。Ｒ仕様は対称になります。

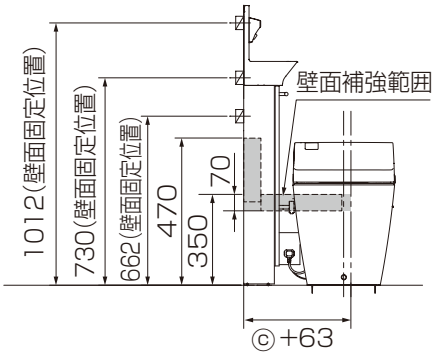
ⓐ：トイレルーム間口寸法 ⓑ：手洗い奥行き寸法 ⓒ：便器中心～手洗い設置側壁面	ⓐ寸法	アームレストなし：750 ～ 1000mm アームレストあり：863 ～ 1000mm
	ⓐ＜ 815mm の場合	ⓑ= 1435 ～ 1723mm（10cm 前出し：1535 ～ 1723mm）
	ⓐ≧ 815mm の場合	ⓑ= 1260 ～ 1723mm（10cm 前出し：1360 ～ 1723mm）
	ⓒ寸法	アームレストのみ設置：488mm 以上 アームレストと小物収納を設置：538mm 以上
	ⓒ寸法が 501 ～ 600mm の場合は、別途延長排水管（CH110T08ST）が必要です。	

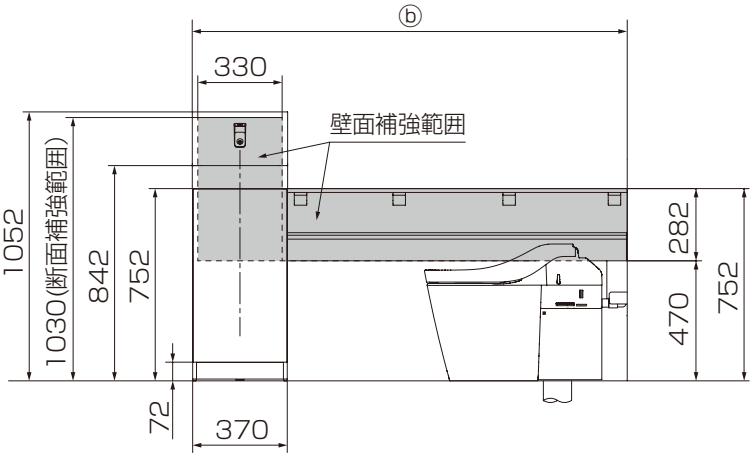




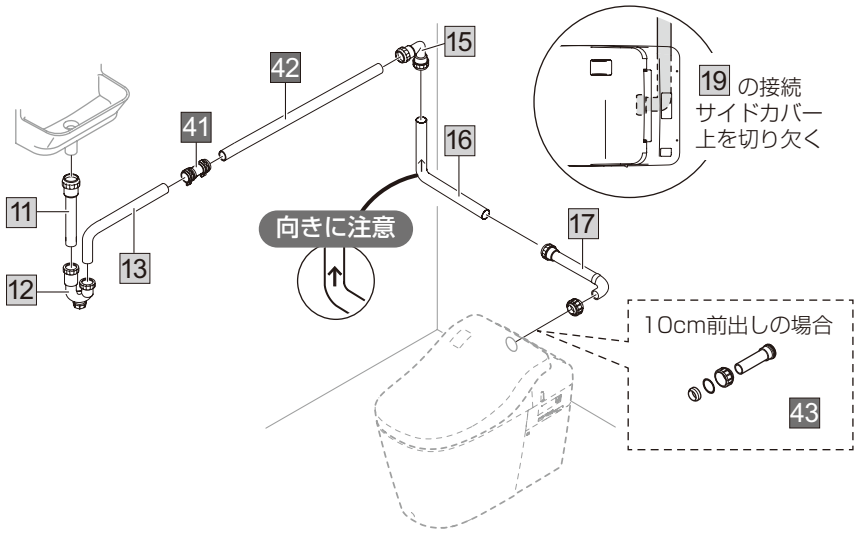


10cm前出しの場合

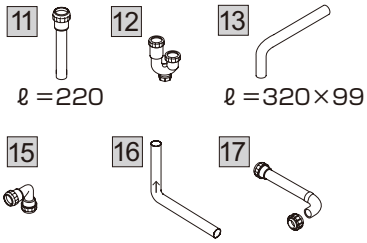




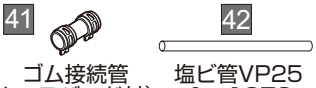
配管接続図・電気線接続図

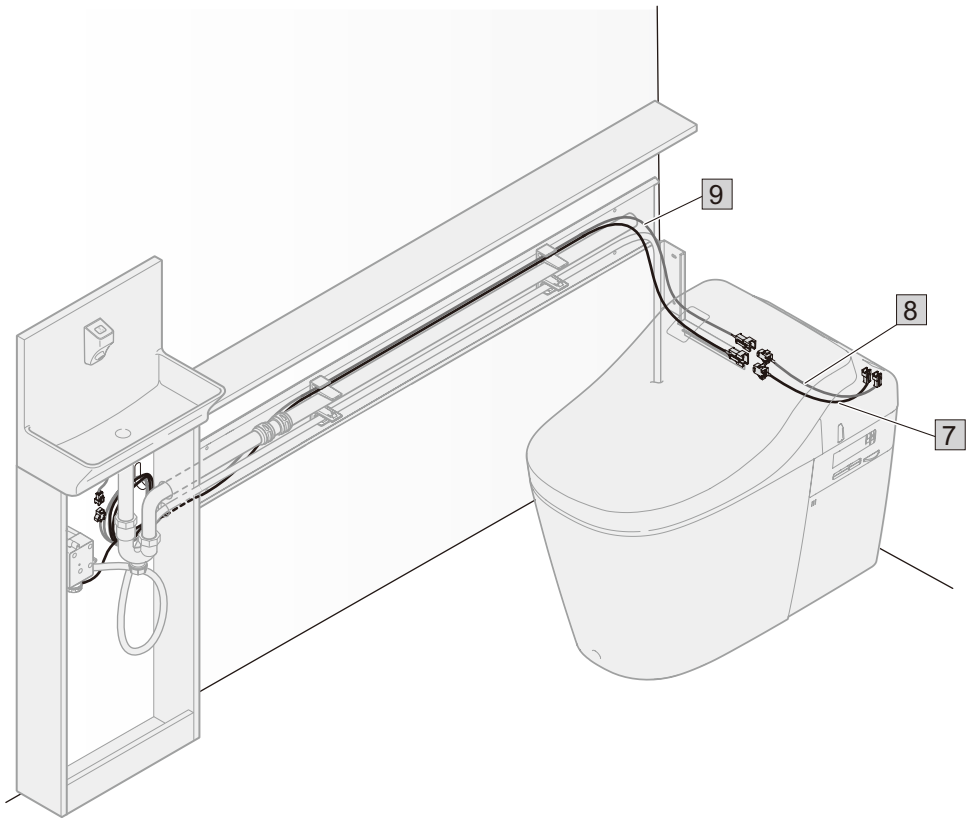


本体キャビネットに同梱



カウンターに同梱





施工チャート L 仕様

施工手順を動画で見る
https://www.youtube.com/watch?v=9nvJK-IFFDI

● 本書は L 仕様のイラストで説明しています。R 仕様の場合は対称となります。

1 止水栓の取り付けと床工事

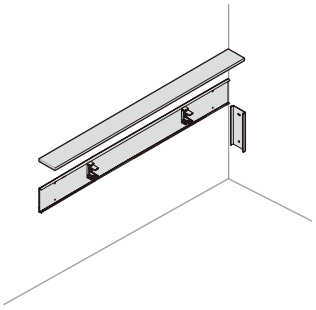
それぞれのアラウーノの施工説明書に
したがって行ってください。

2 部材の加工

仕上がり寸法に合わせて、 9 ページ
部材を加工してください。

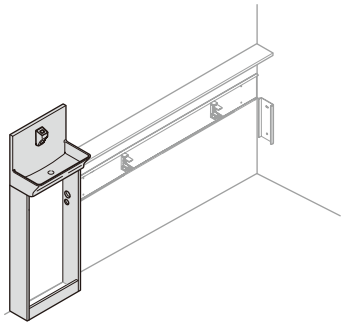
3 カウンターの取り付け

12 ページ



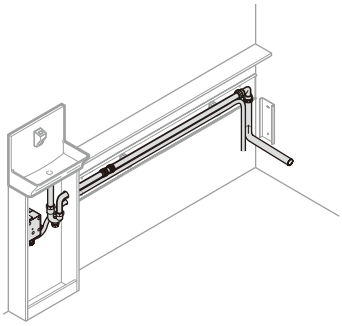
4 キャビネット・手洗いボールの取り付け

16 ページ



5 排水管、電気線、給水ホースの取り付け

18 ページ

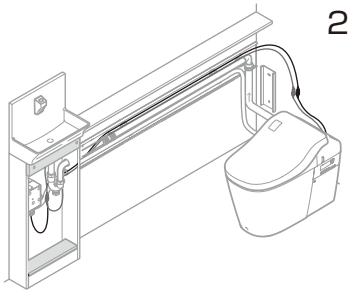


6 便器の取り付け

それぞれのアラウーノの施工説明書に
したがって行ってください。

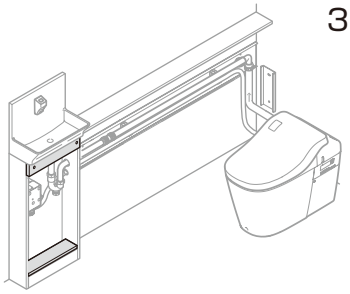
7 電気線の接続

26 ページ



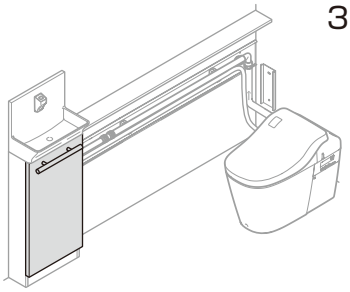
8 仕上げ（給排水の接続）

30 ページ



9 扉の取り付け

33 ページ

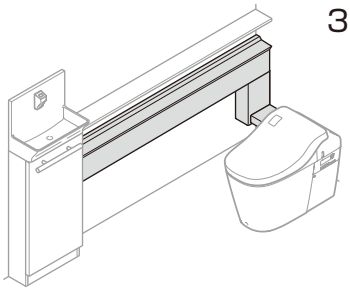


10 アラウーノ本体との連動と試運転

35 ページ

11 配管カバーの取り付け

38 ページ



施工手順

（寸法単位：mm）

1 止水栓の取り付けと床工事

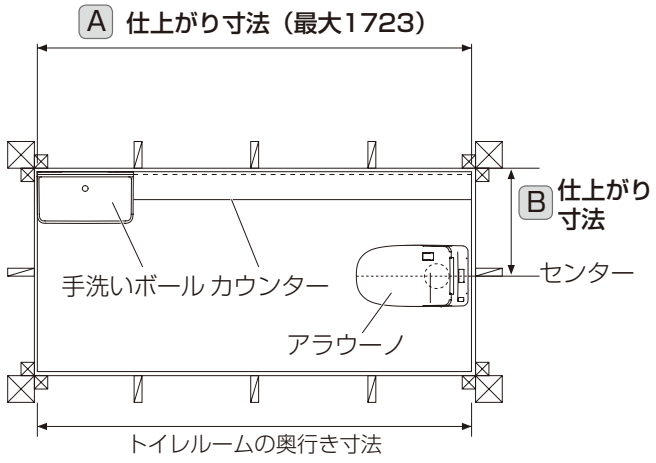
それぞれのアラウーノの施工説明書にしたがって作業を行ってください。
水道の元栓を締め、近くの蛇口などで給水が止まっていることをご確認ください。

2 部材の加工

1 仕上がり寸法を確認する

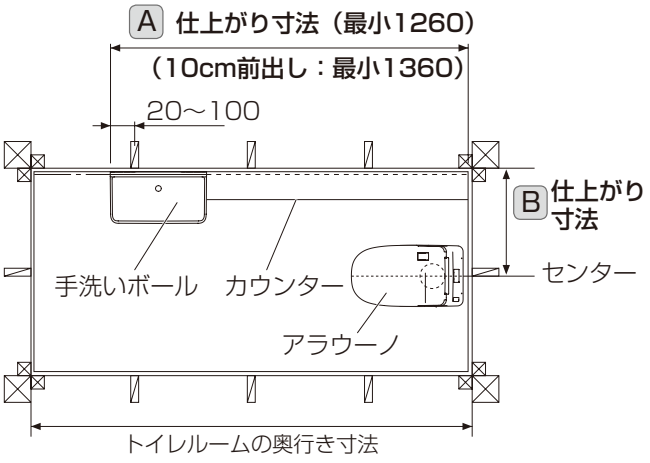
A と B 仕上がり寸法を確認する。

ウォールトゥウォールにする場合



※トイレルームの奥行き寸法と同じ長さになります。

ウォールトゥウォールにしない場合



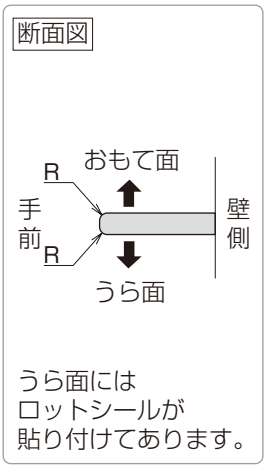
※ご希望の長さを設定してください。（間口や取り付ける便器によって対応範囲が異なります。）

施工手順　L 仕様

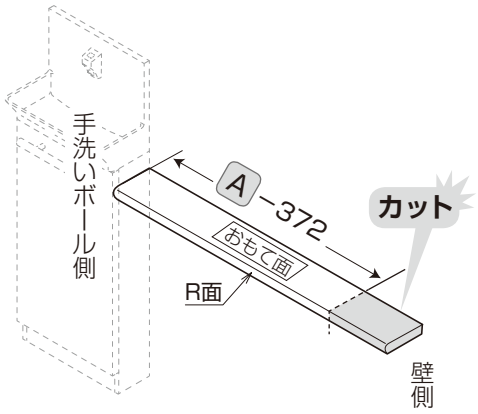
2 部材をカットする

現場に合わせて部材を丸のこなどでカットする。
カット後、端面のバリを取ってください。

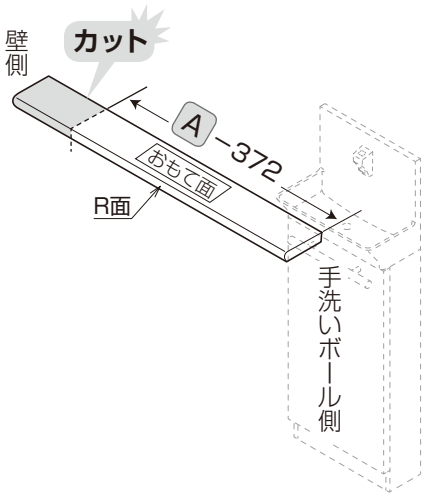
カウンター



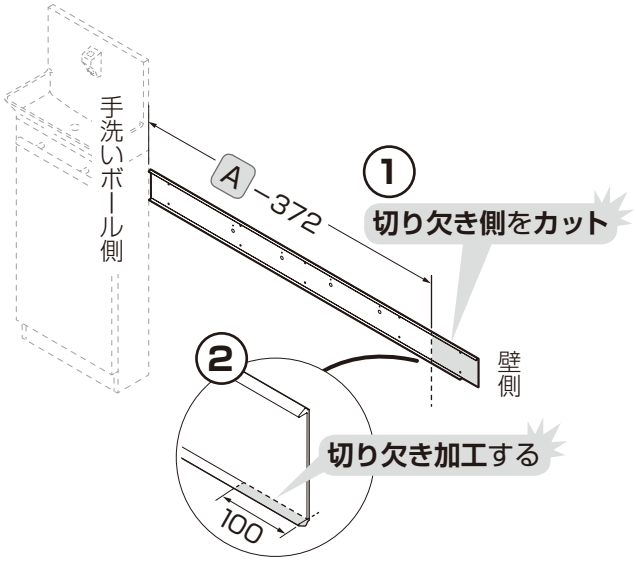
L仕様



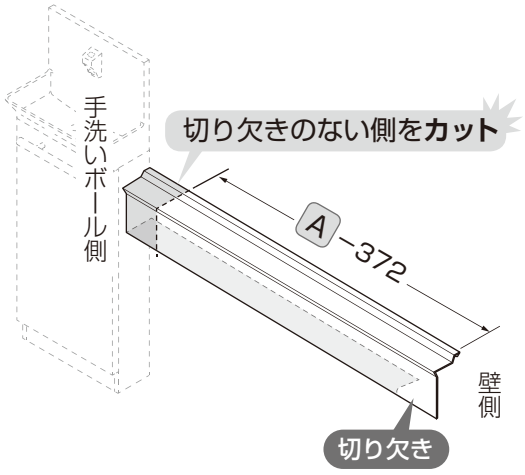
R仕様



取付プレート（横）



配管カバー（横）



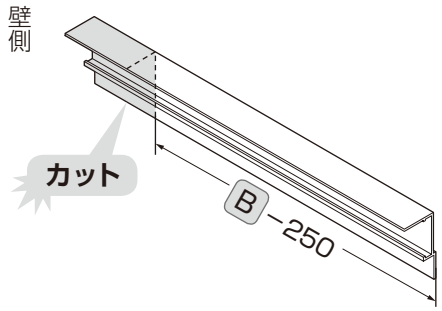
お願い

・取付プレート（横）と配管カバー（横）のカット位置は異なります。
必ず確認してください。

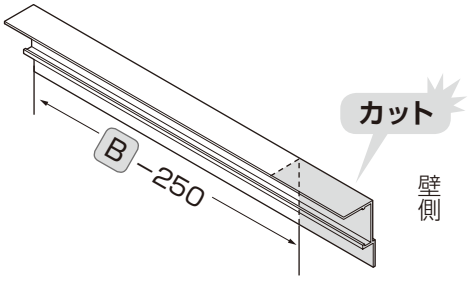
（寸法単位：mm）

取付プレート（奥横）

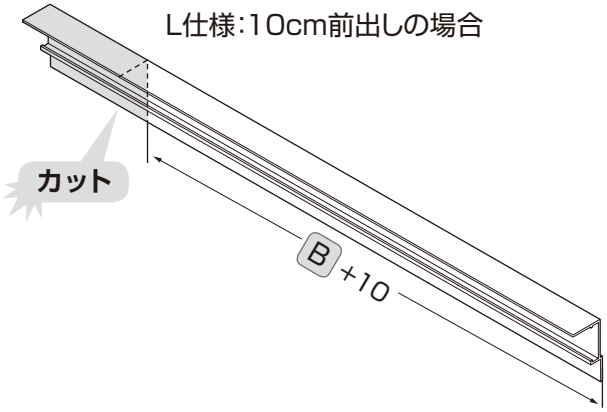
L仕様



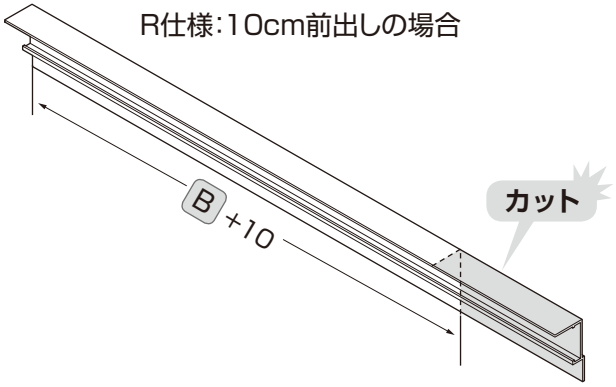
R仕様



L仕様:10cm前出しの場合

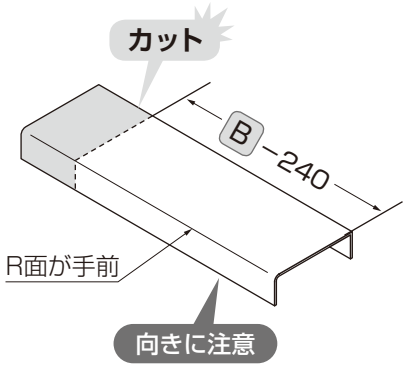


R仕様:10cm前出しの場合

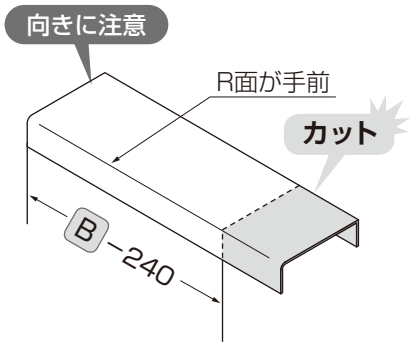


配管カバー（奥横）

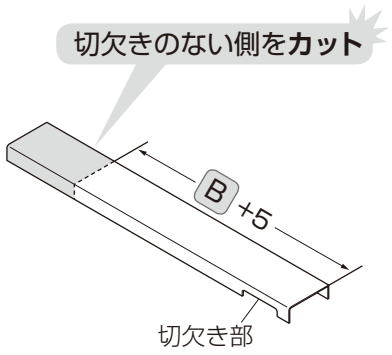
L仕様



R仕様

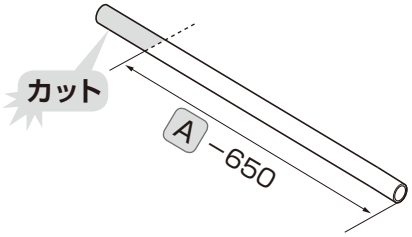


10cm前出しの場合



※イラストはL仕様です。

塩ビ管

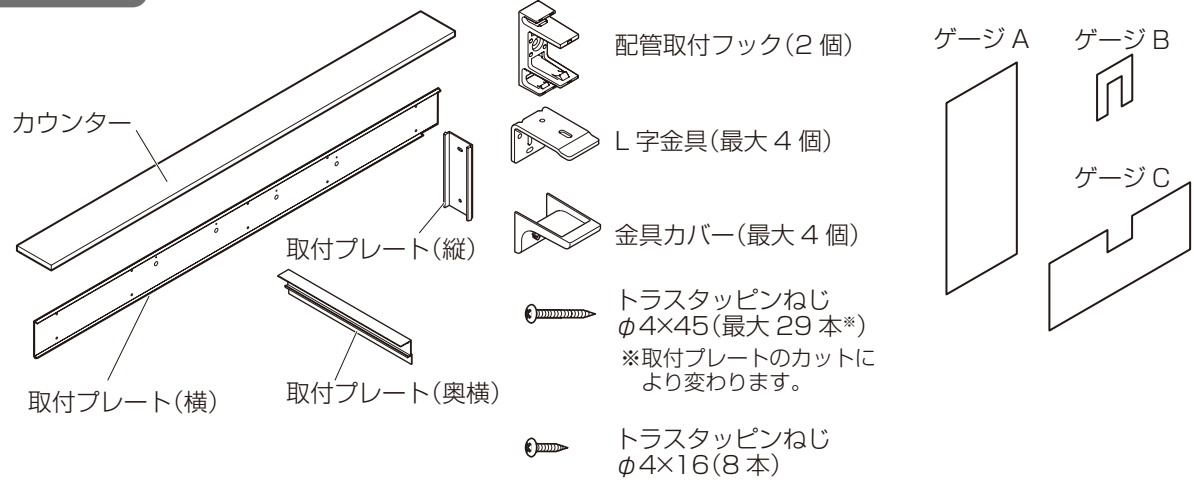


幅木がある場合

幅木に合わせて、キャビネットをカットしてください。

3 カウンターの取り付け

部品の確認



⚠ 注意

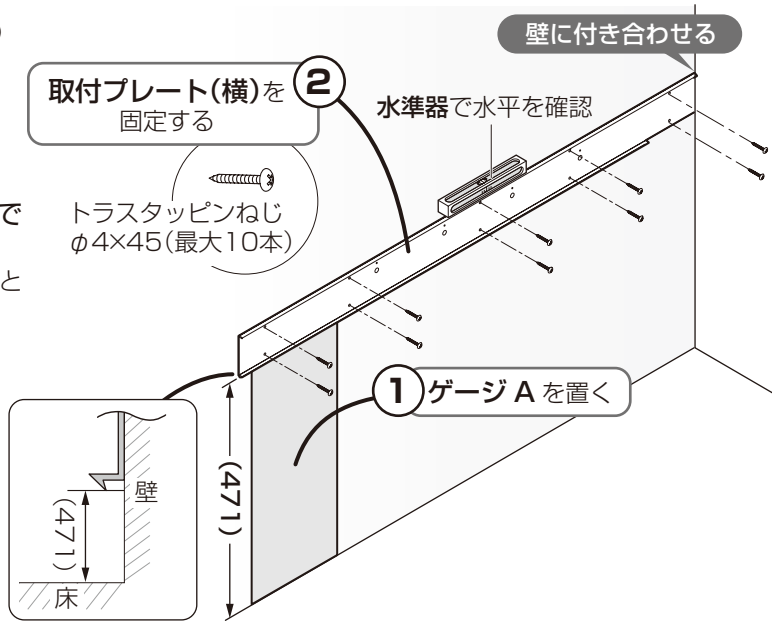
必ず守る

- **壁面固定位置の壁面強度が十分あることを確認する十分な強度がない場合は、12mm 以上の合板で補強する**
  転倒・落下によるけがの原因となります。
- **壁面の固定は必ず同梱の指定ねじ、指定金具を使用する**
  転倒・落下によるけがの原因となります。
- **ねじ頭が飛び出たままにならないように最後までしっかりとめる**
  配管を傷つけ、水漏れの原因となります。

1 取付プレートを取り付ける

① ゲージAを壁につけて床に置く。
・キャビネット側に置いてください。
・必ずゲージ A をご使用ください。

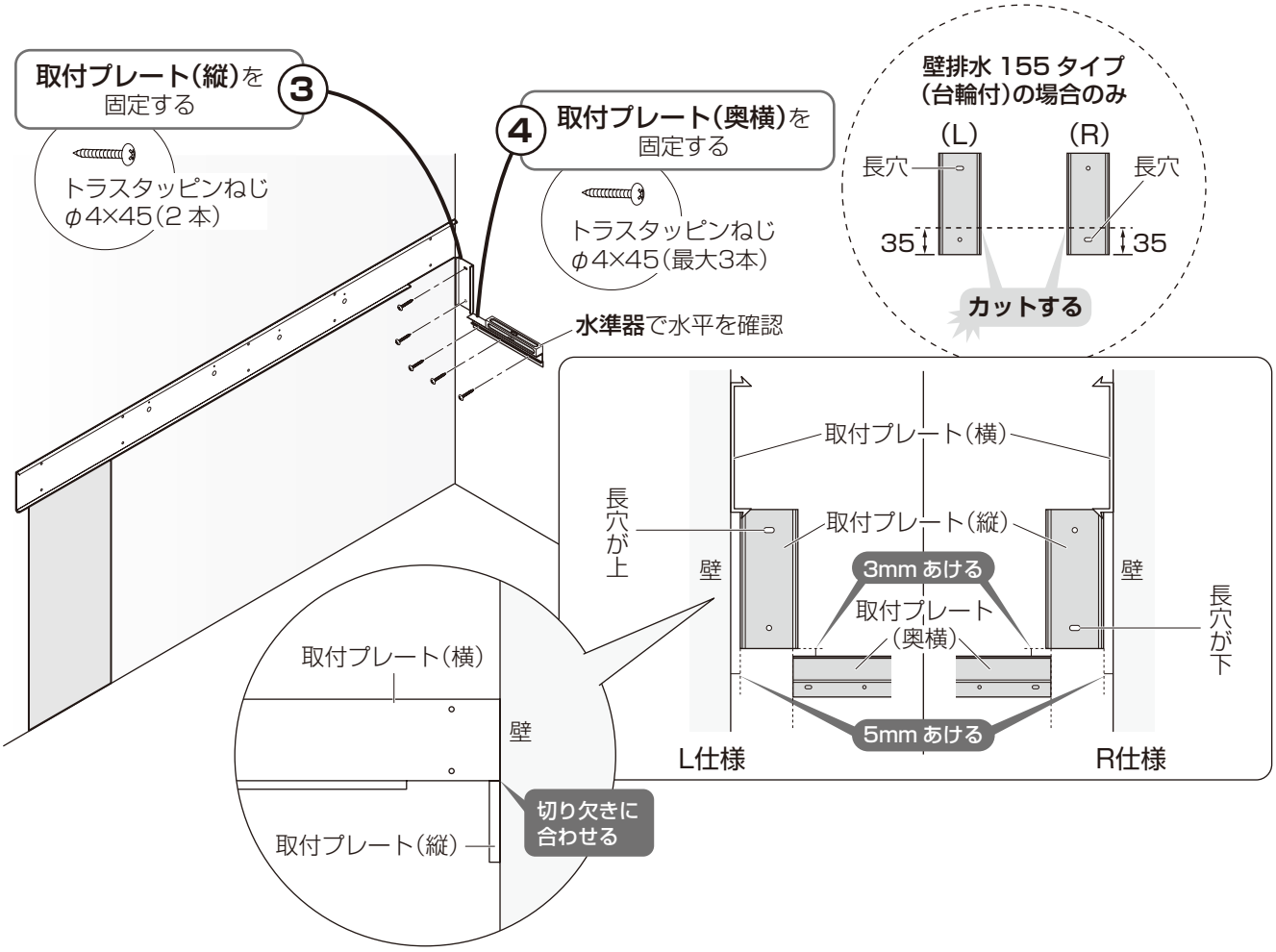
② ゲージAの上に取付プレート(横)を置き、ねじで固定する。(最大10か所)
水準器で取付プレート(横)が水平になっていることを確認してください。



（寸法単位：mm）

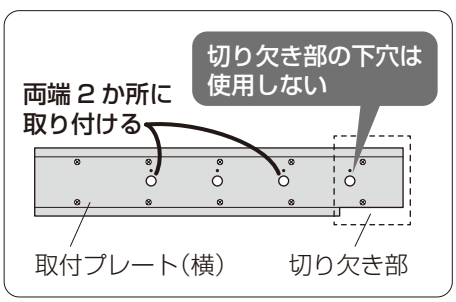
③ 取付プレート(縦)をねじで固定する。(2か所)
・壁排水155タイプ(台輪付)の場合は、カットしてください。
・R仕様の場合は、長穴を下側にしてください。

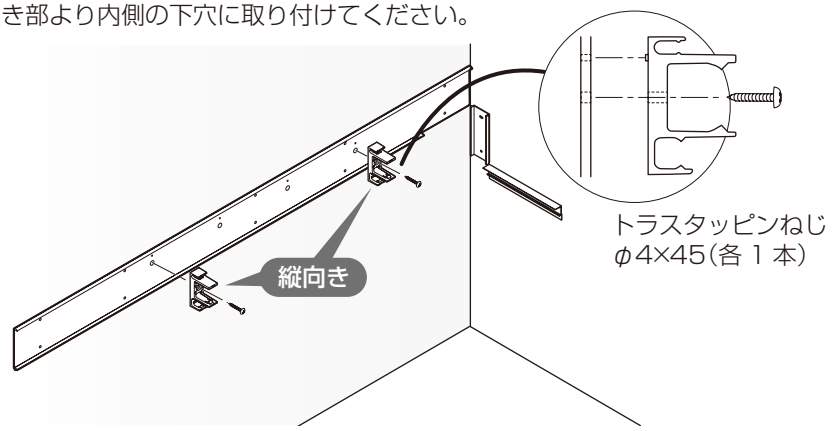
④ 取付プレート(奥横)をねじで固定する。(最大3か所)
水準器で取付プレート(奥横)が水平になっていることを確認してください。



2 配管取付フックを取り付ける

取付プレート(横)に取り付ける。(縦向き・両端に2か所)
壁側の下穴が切り欠き部にある場合は、切り欠き部より内側の下穴に取り付けてください。



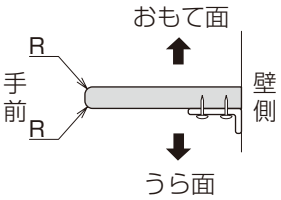


施工手順　L 仕様

3 カウンターに L 字金具を取り付ける

お願い

・カウンターのおもて面に傷が付かないように注意してください。
・小物収納を取り付ける場合は、左右片側を 50mm 空けてください。
（両側をふさぐと、小物収納の開閉ができません。）

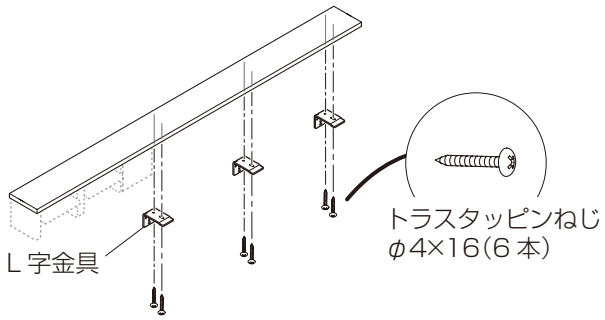


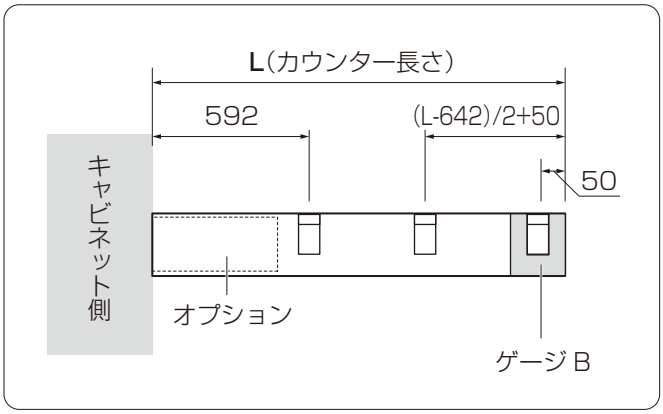
※うら面にはロットシールが貼り付けてあります。

■ L 字金具取り付け位置

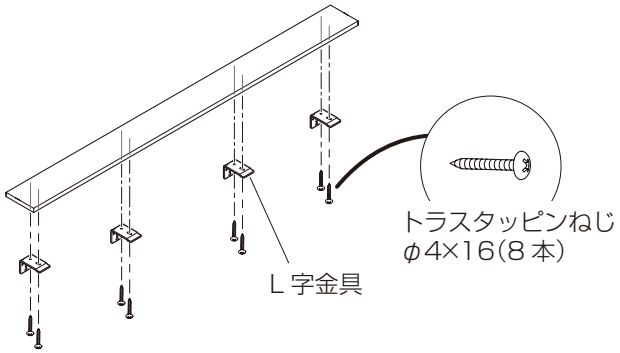
オプションあり	二連ペーパーホルダー ＋ 小物収納	A
	二連ペーパーホルダー	A
	小物収納	B
オプションなし		B

A 二連ペーパーホルダー ＋ 小物収納を設置する場合、二連ペーパーホルダーを設置する場合

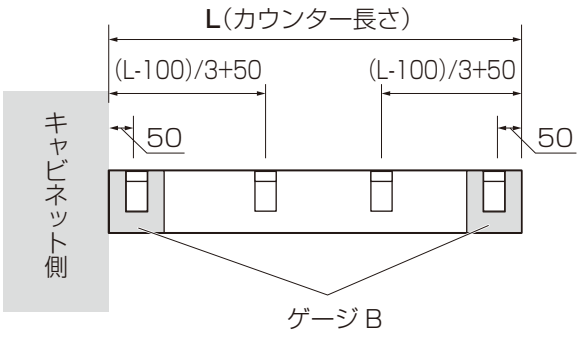




B 小物収納を設置する場合、オプションなしの場合



※推奨取付位置

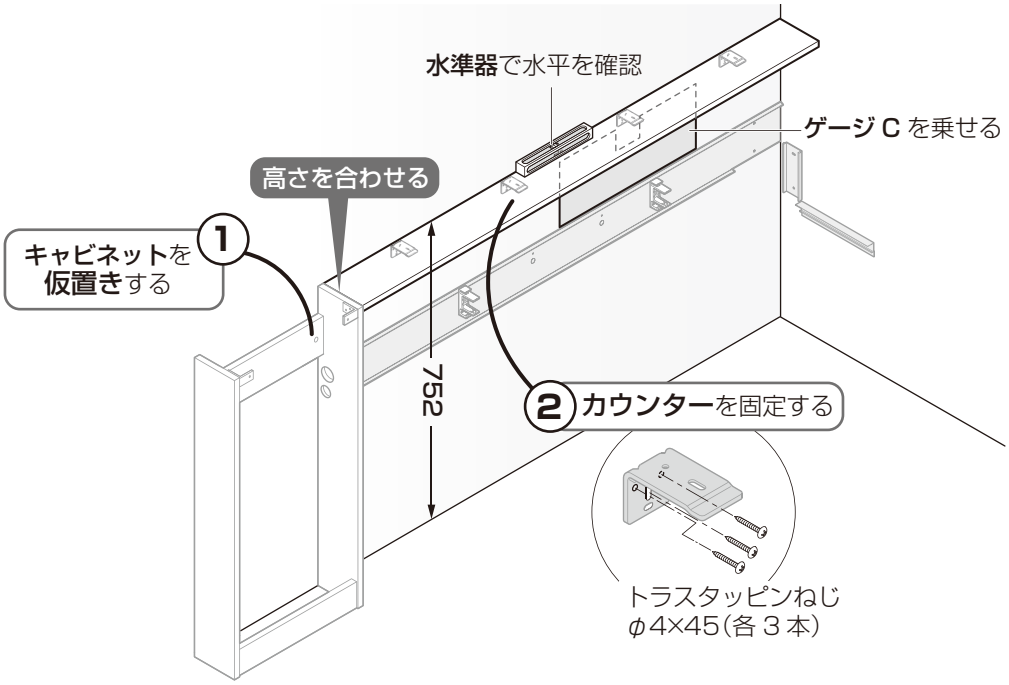


（寸法単位：mm）

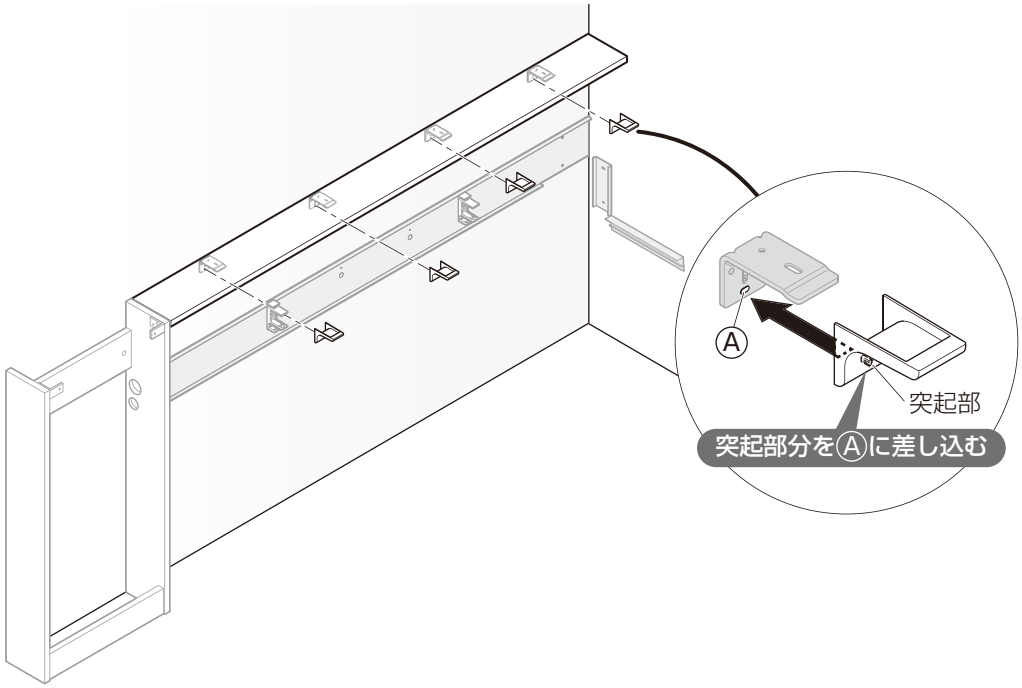
4 カウンターを固定する

① キャビネットを仮置きする。

② キャビネットとカウンターの高さを合わせ、L字金具を壁にねじ固定する。(各3か所)
・ゲージCを使うと作業しやすくなります。
・水準器でカウンターが水平になっていることを確認してください。



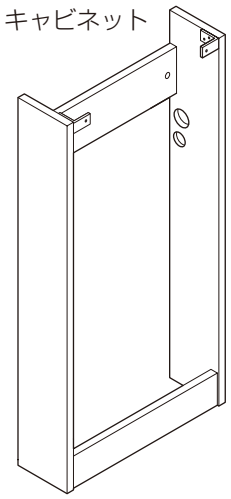
5 金具カバーを取り付ける

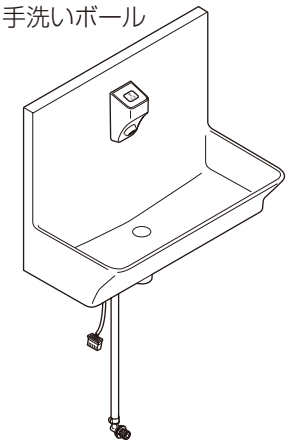


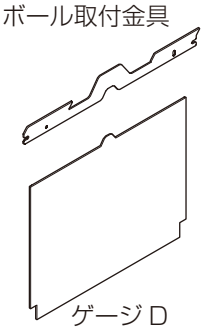
施工手順 L 仕様

4 キャビネット・手洗いボールの取り付け

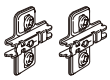
部品の確認


キャビネット


手洗いボール


ボール取付金具

ゲージ D


丁番台座

トラスタッピンねじ
φ4×45(2 本)

トラスタッピンねじ φ4×45
ワッシャー・ゴムワッシャー付(2 本)

丸木ねじ
φ3.1×25(2 本)

皿木ねじ
φ4.5×45(2 本)

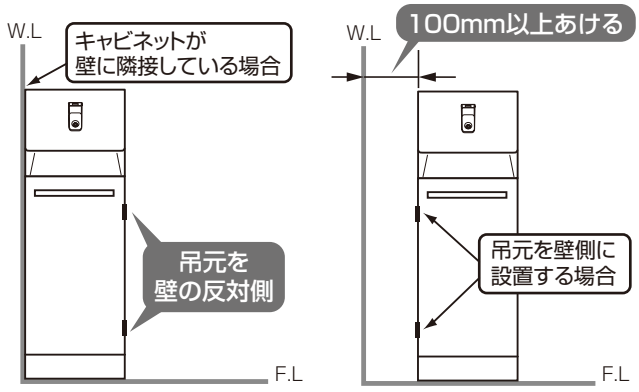
ワッシャー(2 個)

化粧キャップ(2 個)

お願い

扉を開けたときに扉や取っ手が壁に当たらないことを確認の上、吊元を決めてください。

吊元の確認



（寸法単位：mm）

1 キャビネット、ボール取付金具を取り付ける

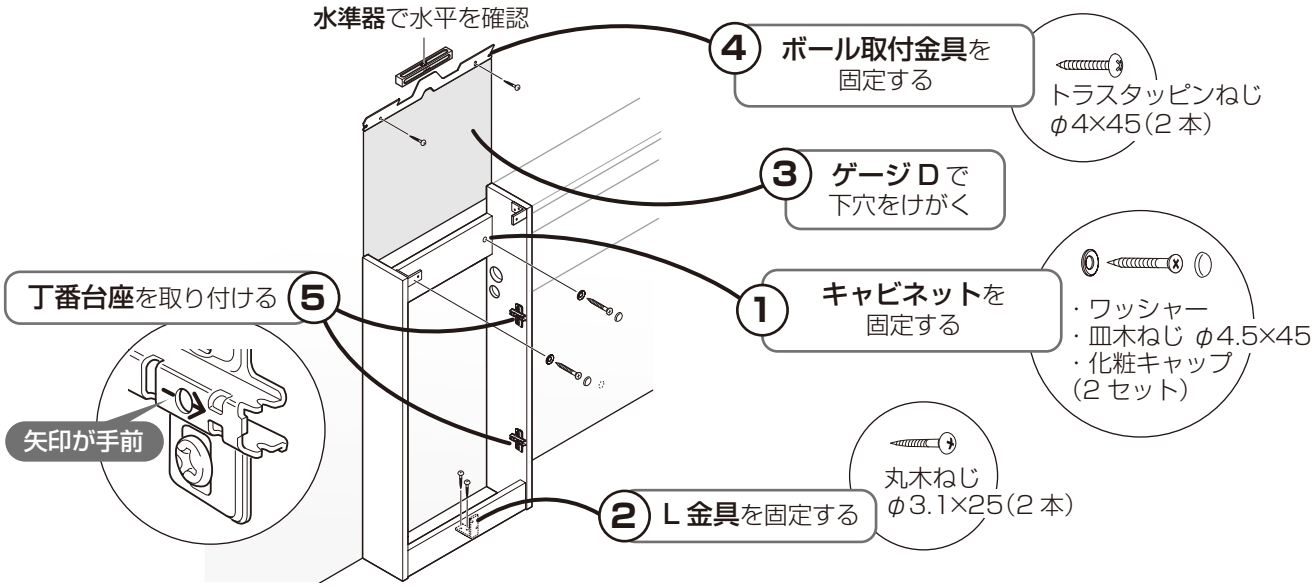
① キャビネットを壁にねじで固定する。(2か所)

② L金具を床面にねじで固定する。(2か所)

③ ゲージDをキャビネットの上に置き、下穴をけがく。

④ ボール取付金具を下穴に合わせて、壁にねじで固定する。(2か所)
水準器を使用し、水平に固定してください。

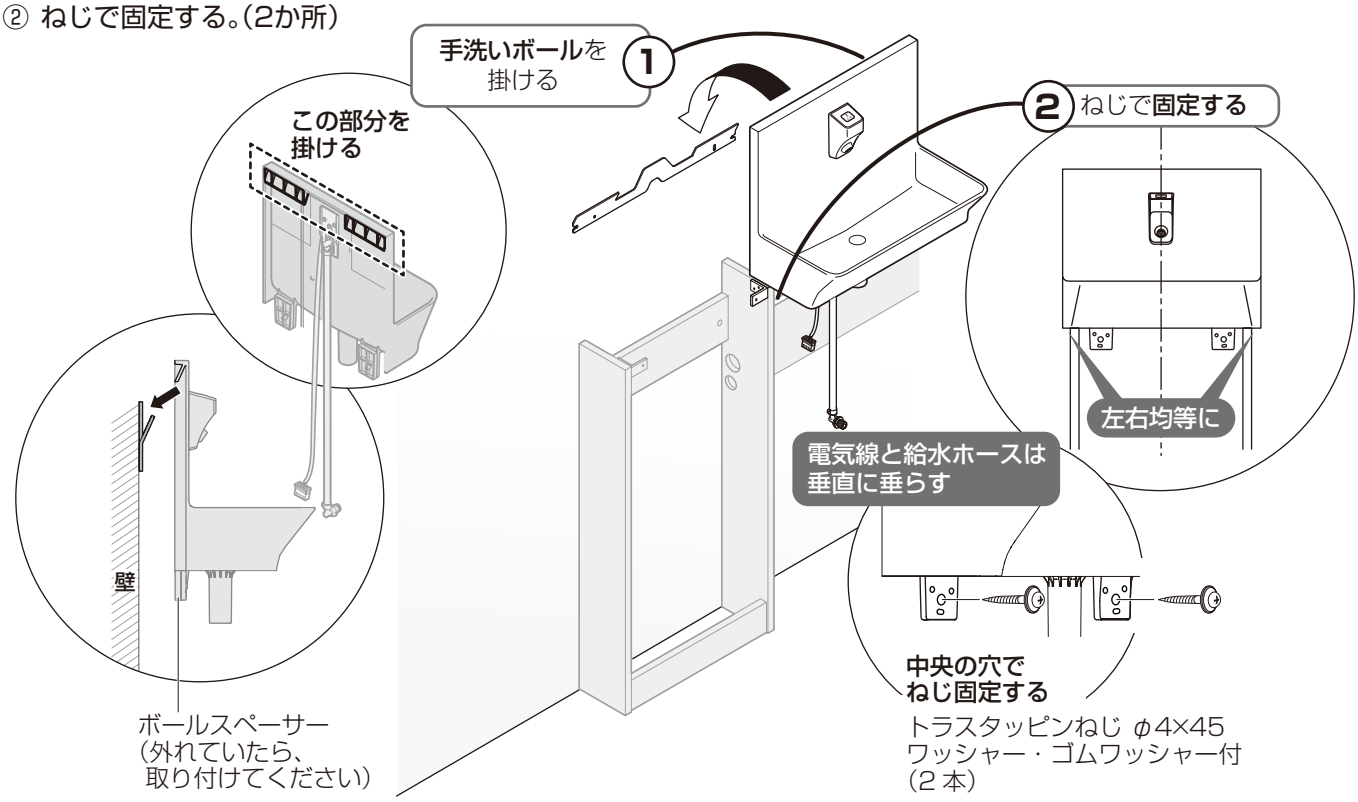
⑤ 吊り元側に丁番台座を取り付ける。



2 手洗いボールを取り付ける

① 手洗いボールをボール取付金具に掛ける。

② ねじで固定する。(2か所)



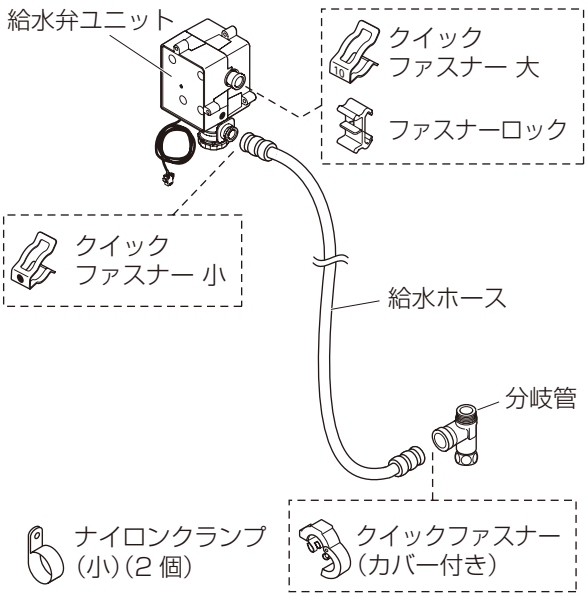
5 排水管、電気線、給水ホースの取り付け

お願い

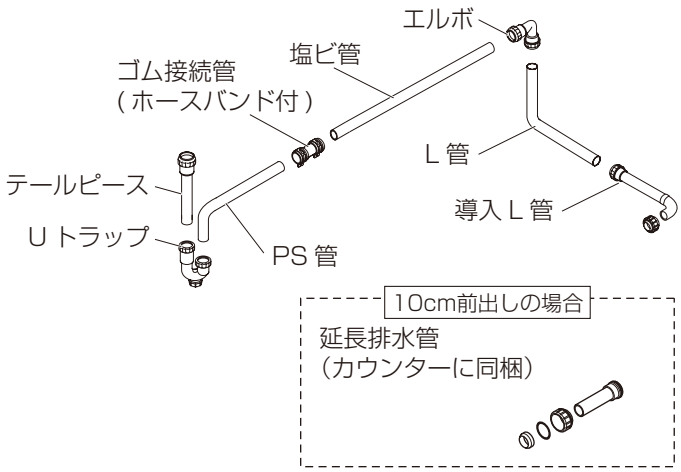
・止水栓は閉じてください。

部品の確認

給水



排水

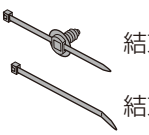


電気線

電気線(黒色)

電気線(灰色)　L=620

中継用電気線(灰色)　L=2200



結束バンド A

結束バンド B

（寸法単位：mm）

1 塩ビ管、排水トラップを接続する

① **塩ビ管とPS管をゴム接続管で接続する。**
・現場寸法に合わせて塩ビ管をカットしてください。
（11ページ参照）

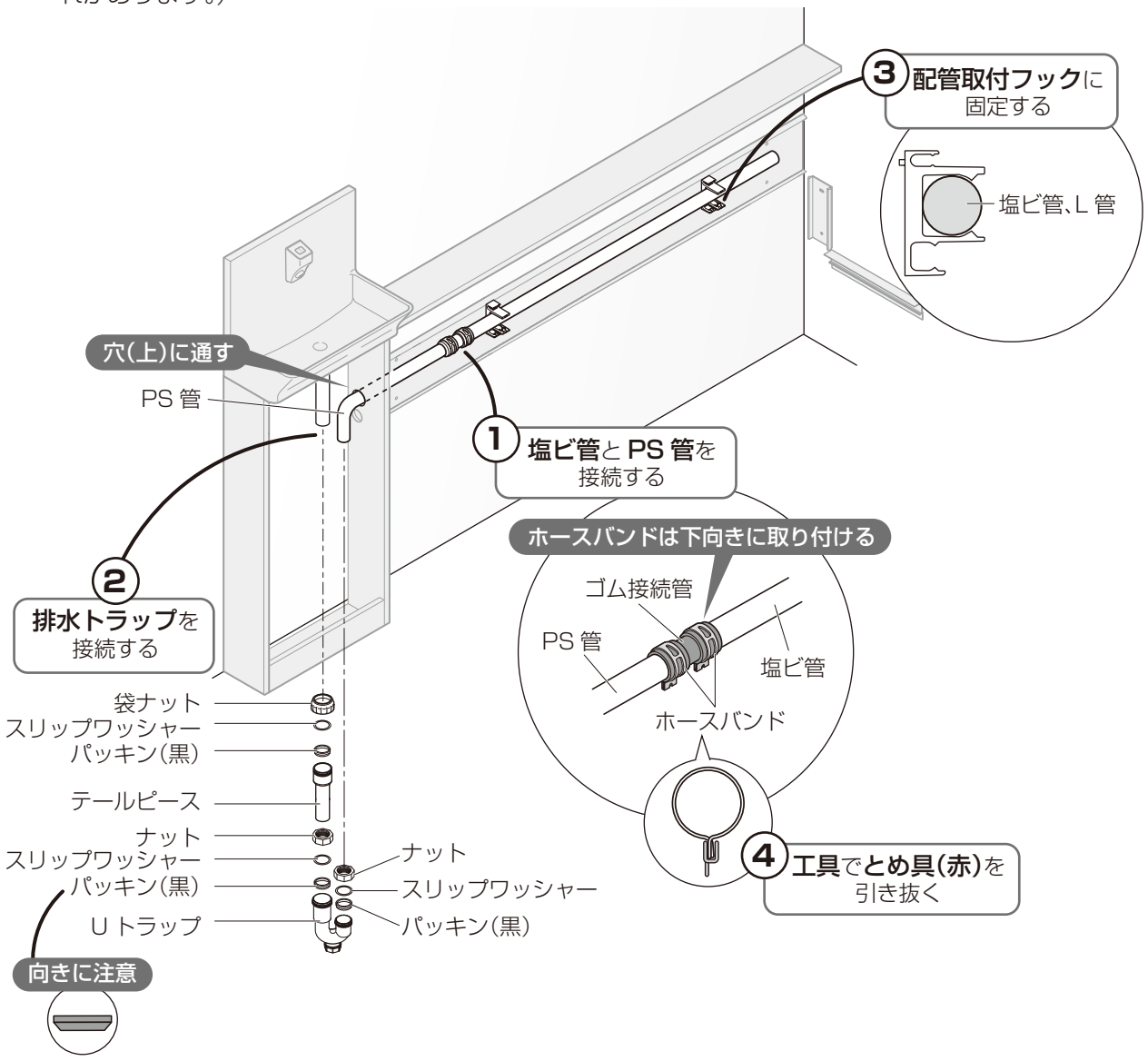
② **排水トラップを接続する。**
しっかりと接続してください。
接続が緩いと水漏れの原因となります。

③ **塩ビ管を配管取付フックに固定する。**

④ **ホースバンドのとめ具を工具で引き抜く。**

お願い
・ゴム接続管が取り付けにくい場合は、水をつけてください。
・ホースバンドのとめ具を引き抜くときは、必ず塩ビ管か PS 管を持ってください。
（ゴム接続管を持って引き抜くと、けがのおそれがあります。）

お願い
・パッキンの取り付け向きに注意してください。
・流出方向に 1/100 の流れ勾配を確認してください。



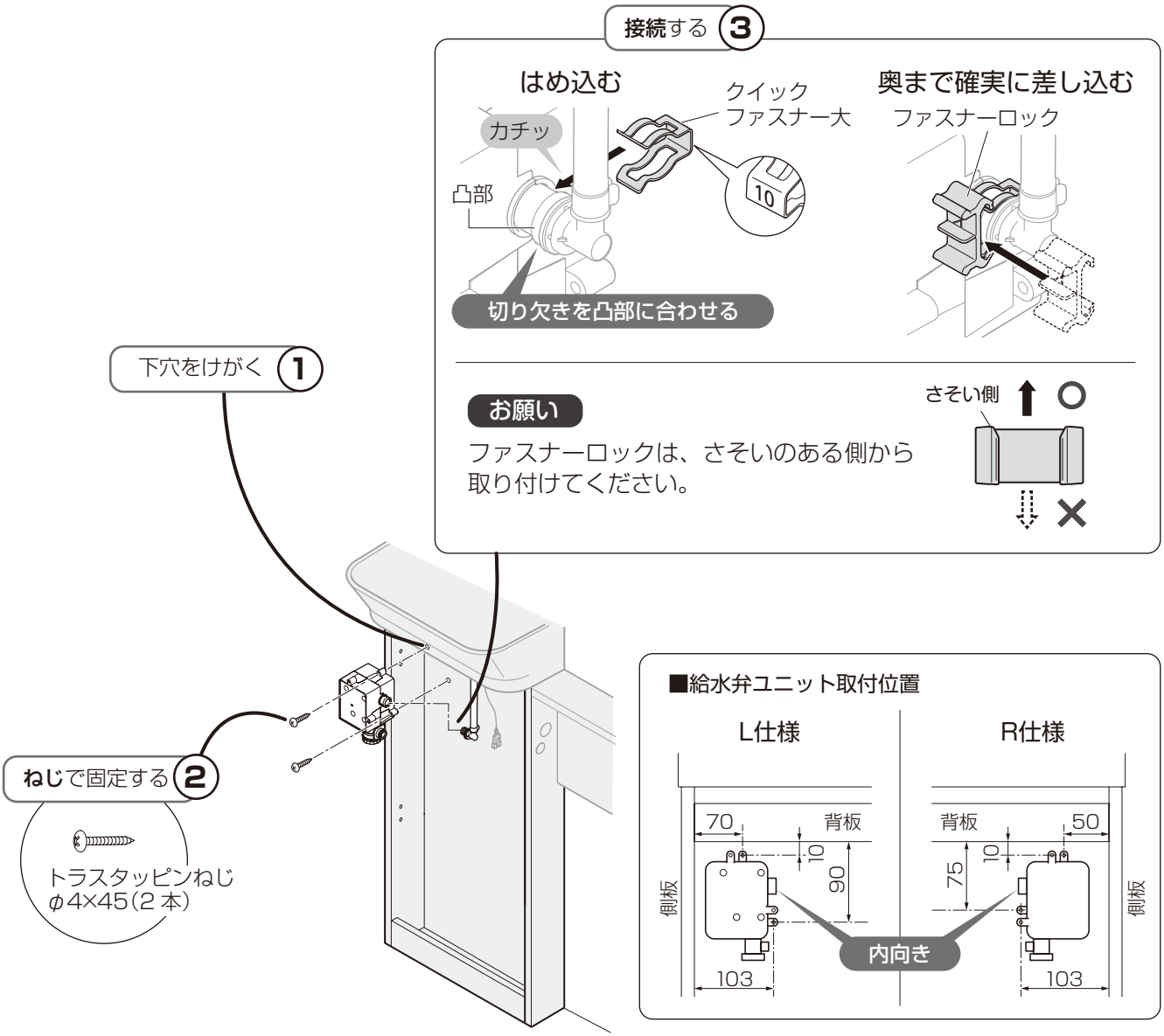
施工手順 L 仕様

2 給水弁ユニットを取り付ける

① 下穴をけがく。

② 給水弁ユニットを壁にねじ固定する。(2か所)

③ 手洗いボールの給水ホースを給水弁ユニットに接続する。
・クイックファスナー大で確実に固定してください。
・外れ防止のため、必ずファスナーロックを取り付けてください。



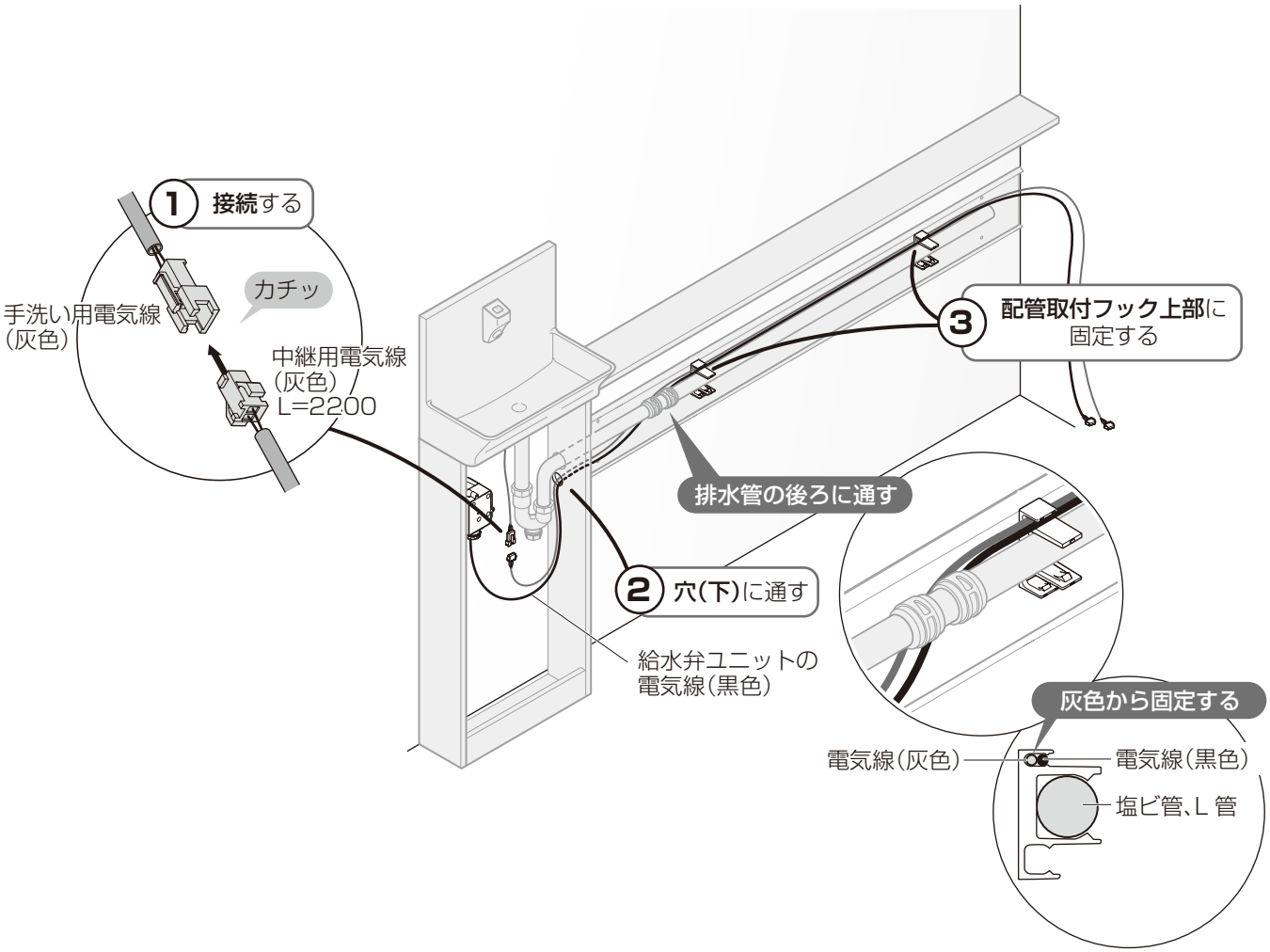
（寸法単位：mm）

3 中継用電気線を接続する

① 手洗い用の電気線(灰色)と中継用電気線(灰色)を接続する。
「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

② 給水弁ユニットの電気線(黒色)と、中継用電気線(灰色)をキャビネット側板の穴(下)に通す。
電気線は塩ビ管の後ろに通してください。

③ 配管取付フック(上部)に固定する。
灰色、黒色の順番で固定してください。



施工手順　L 仕様

4 給水ホースを取り付ける

① **給水ホースをキャビネット側板の穴(下)に通す。**
給水弁ユニットへの接続はまだ行わないでください。

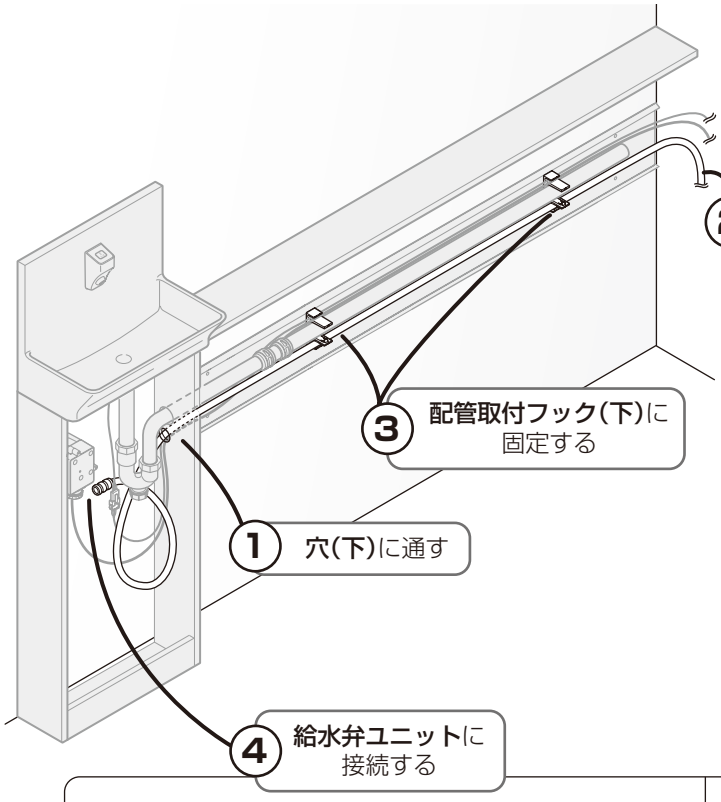
② **便器側止水栓、分岐管、給水ホースを接続する。**
クイックファスナー(カバー付き)で確実に固定してください。

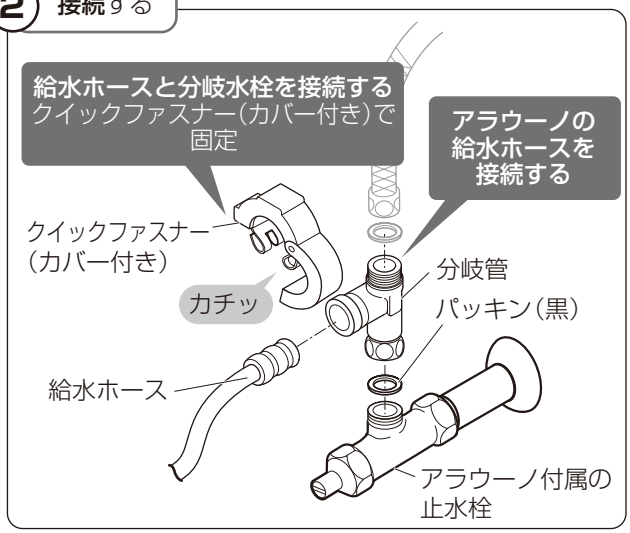
③ **給水ホースを配管取付フックに固定する。**
無理に引っ張らず、たるませてください。

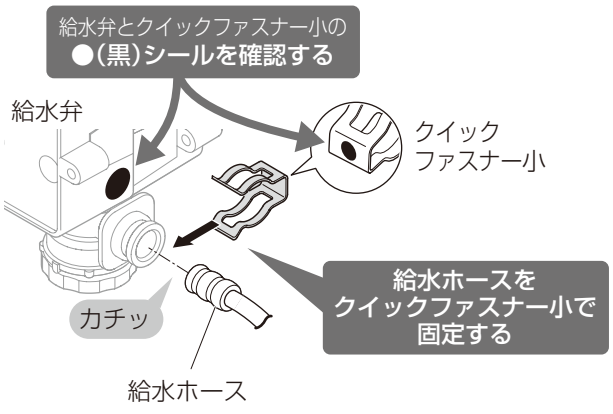
④ **給水ホースを給水弁ユニットに接続する。**
・クイックファスナー小で確実に固定してください。
・ナイロンクランプで、壁に固定してください。

お願い

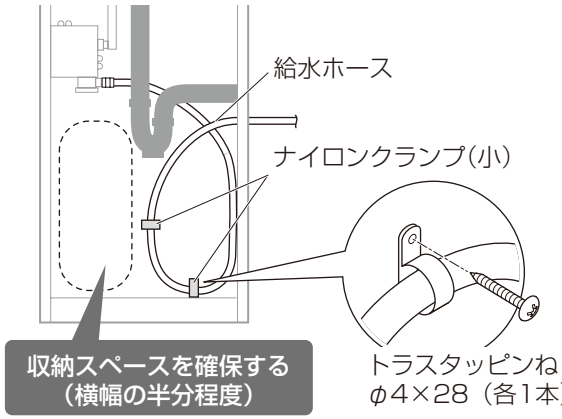
・必ずアラウーノ付属の止水栓を取り付けてください。異なる止水栓を取り付けると、便器洗浄の水量が減るなどの問題が生じるおそれがあります。







給水ホースの余りは1周まわして、キャビネット内にナイロンクランプで固定してください。



（寸法単位：mm）

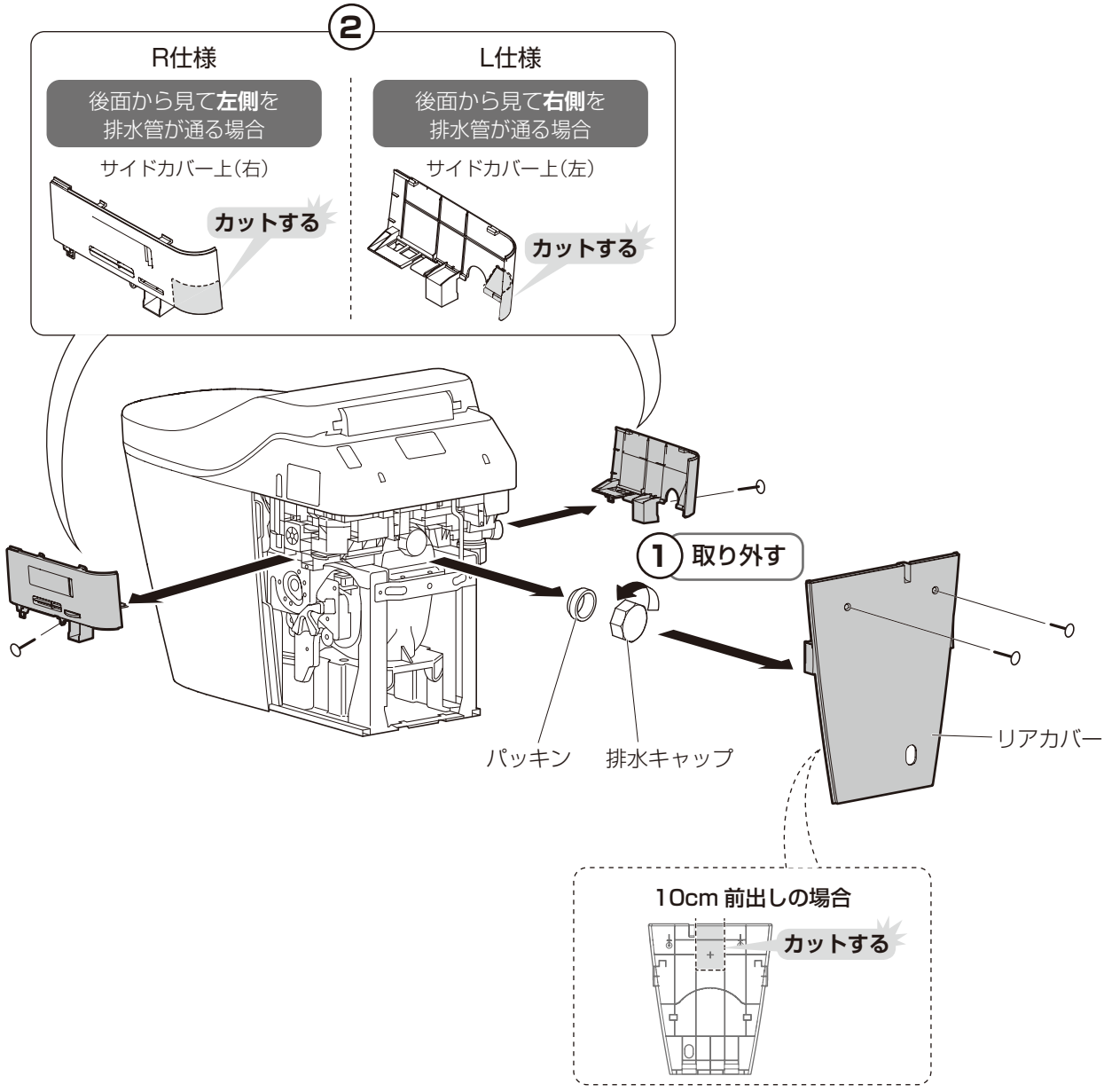
5 導入L管を便器に取り付ける

CH150と接続する場合

お願い 便器を先に取り付けると排水管が接続できなくなります。
必ず、先に排水管を便器に接続してください。

① **便器のサイドカバー上(右)、リアカバー、排水キャップ、パッキンを取り外す。**
- L仕様の場合は、サイドカバー上(左)も外してください。
- 取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。

② **サイドカバーを加工する。**
- 塩ビのこなどでカットしてください。
- 10cm前出しの場合は、リアカバーをカットしてください。(サイドカバーの加工は不要です)
- カット後、切断部のバリを取り除いてください。

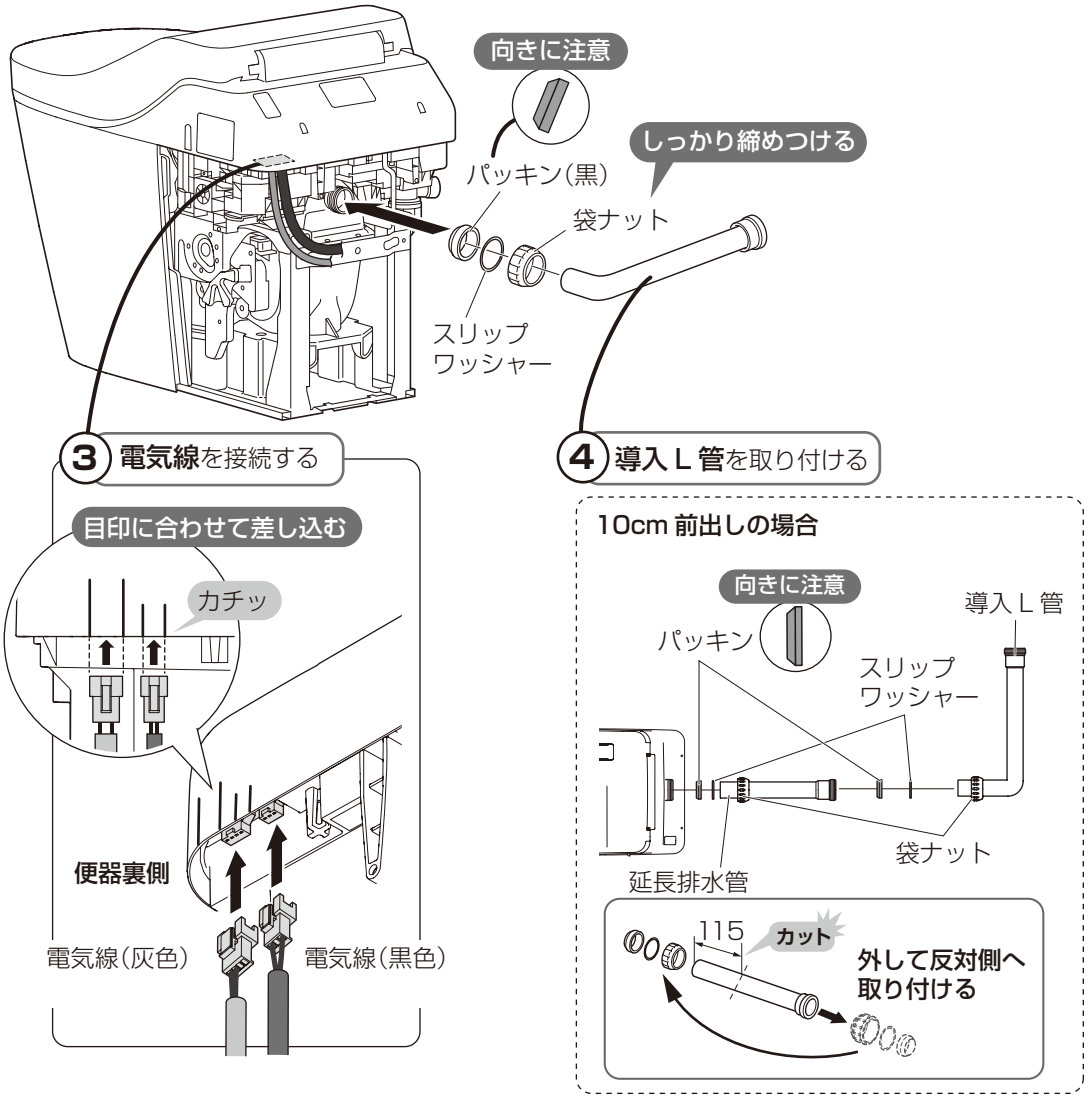


施工手順 L 仕様

CH150 と接続する場合

③ 電気線(黒色)、電気線(灰色) L=620を「カチッ」と音がするまでアラウーノに接続する。

④ 導入L管を取り付ける。
・袋ナットをしっかり締めてください。
・10cm前出しの場合は延長排水管を115mmカットし、先に延長排水管を取り付けてください。

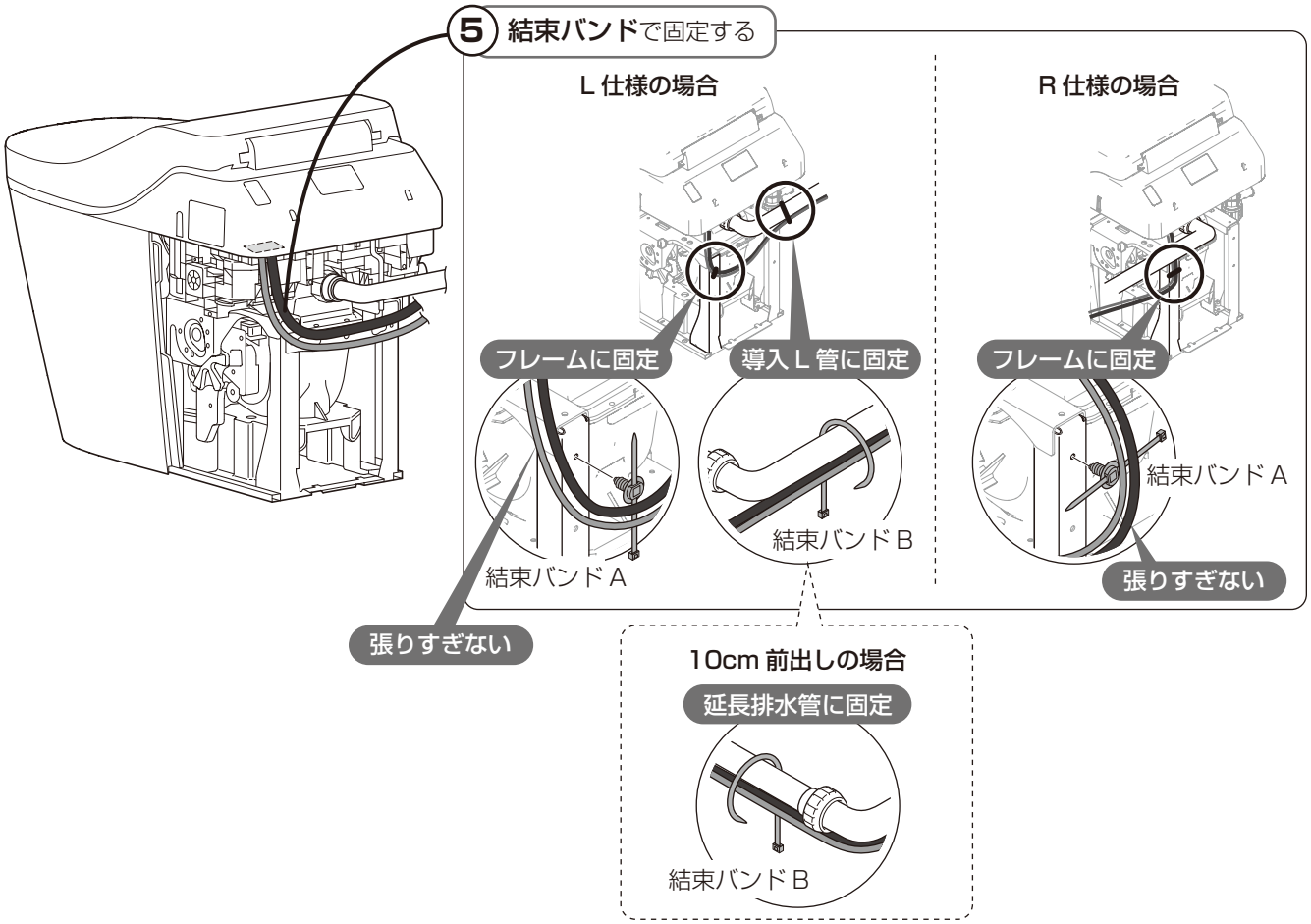


お願い

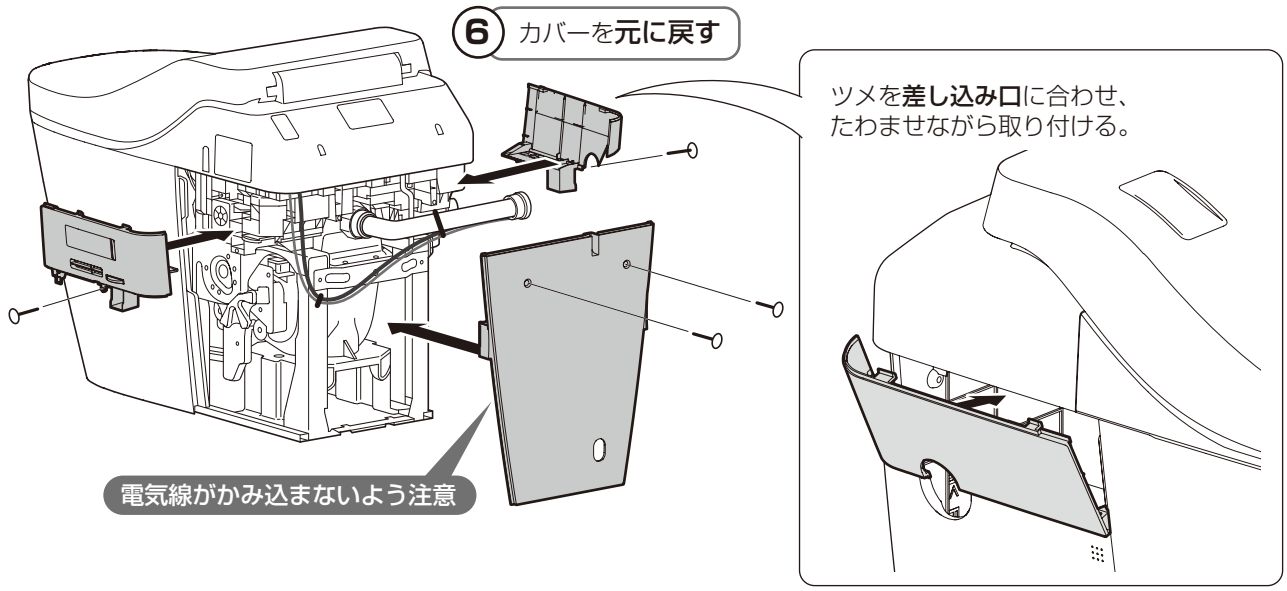
・電気線を接続する際は、必ず位置とコネクタの向きを確認してください。無理に差し込むと、ピンが破損するおそれがあります。

（寸法単位：mm）

⑤ 電気線を結束バンドで固定する。



⑥ リアカバー、サイドカバー上を元に戻す。
導入L管が奥まで差し込まれていないとリアカバーが閉まりません。



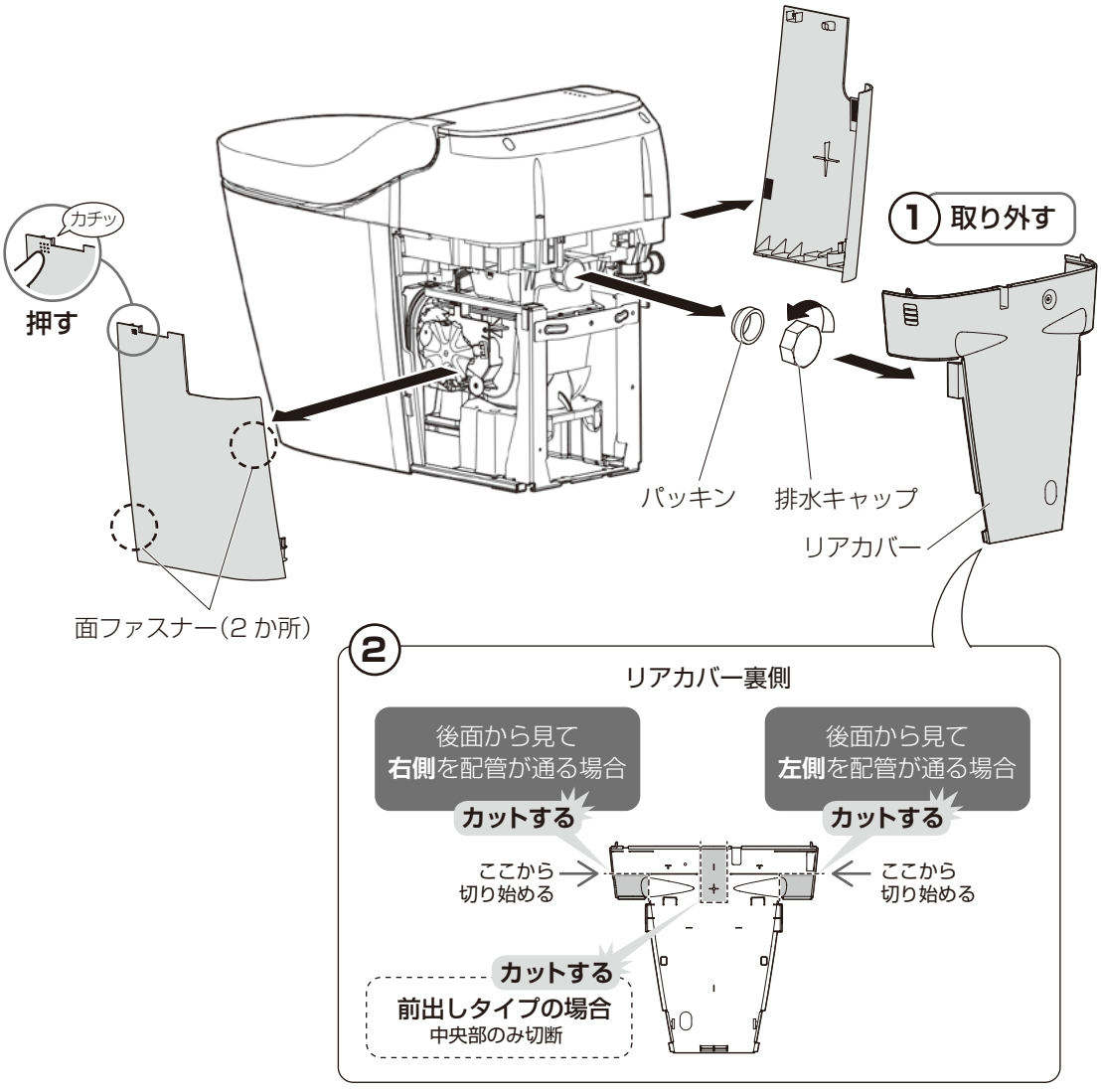
施工手順 L 仕様

CH160 と接続する場合

お願い 便器を先に取り付けると排水管が接続できなくなります。
必ず、先に排水管を便器に接続してください。

① 便器のサイドカバー、リアカバー、排水キャップ、パッキンを取り外す。
・取り外した排水キャップとパッキンは使用しません。

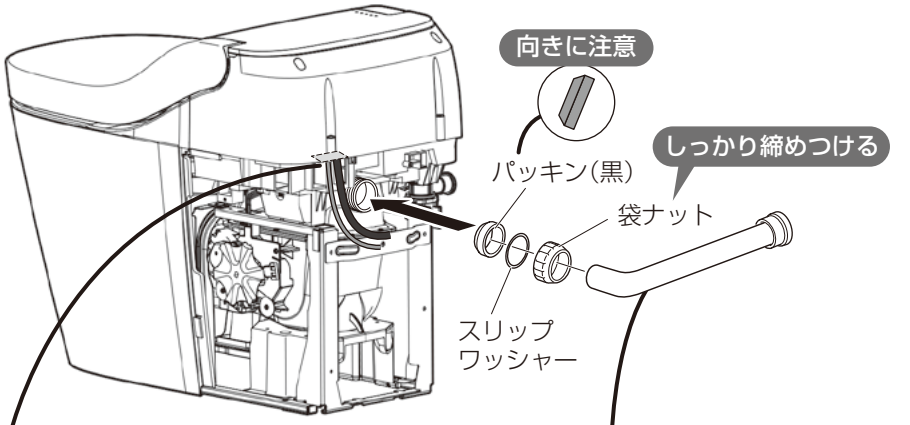
② リアカバーを加工する。
・塩ビのこなどでカットしてください。
・カット後、切断部のバリを取り除いてください。

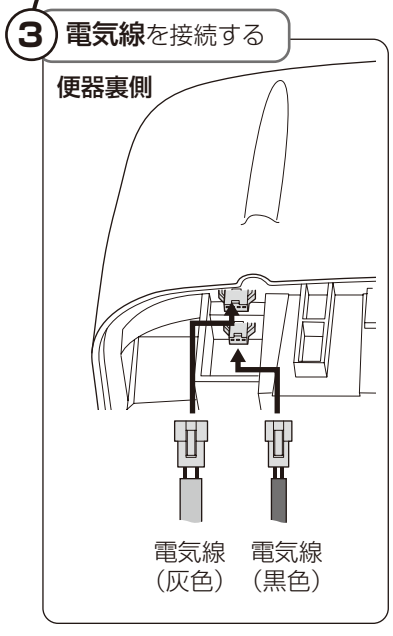


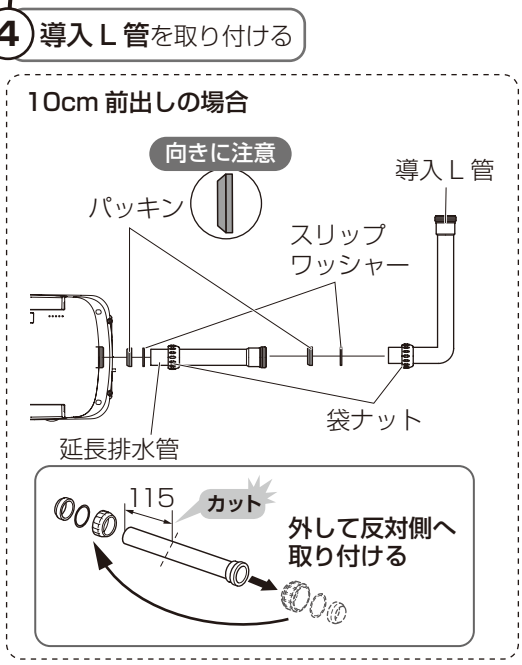
（寸法単位：mm）

③ 電気線(灰色)、電気線(黒色)をアラウーノに接続する。
「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

④ 導入L管を取り付ける。
・袋ナットをしっかり締めてください。
・10cm前出しの場合は延長排水管を115mmカットし、先に延長排水管を取り付けてください。



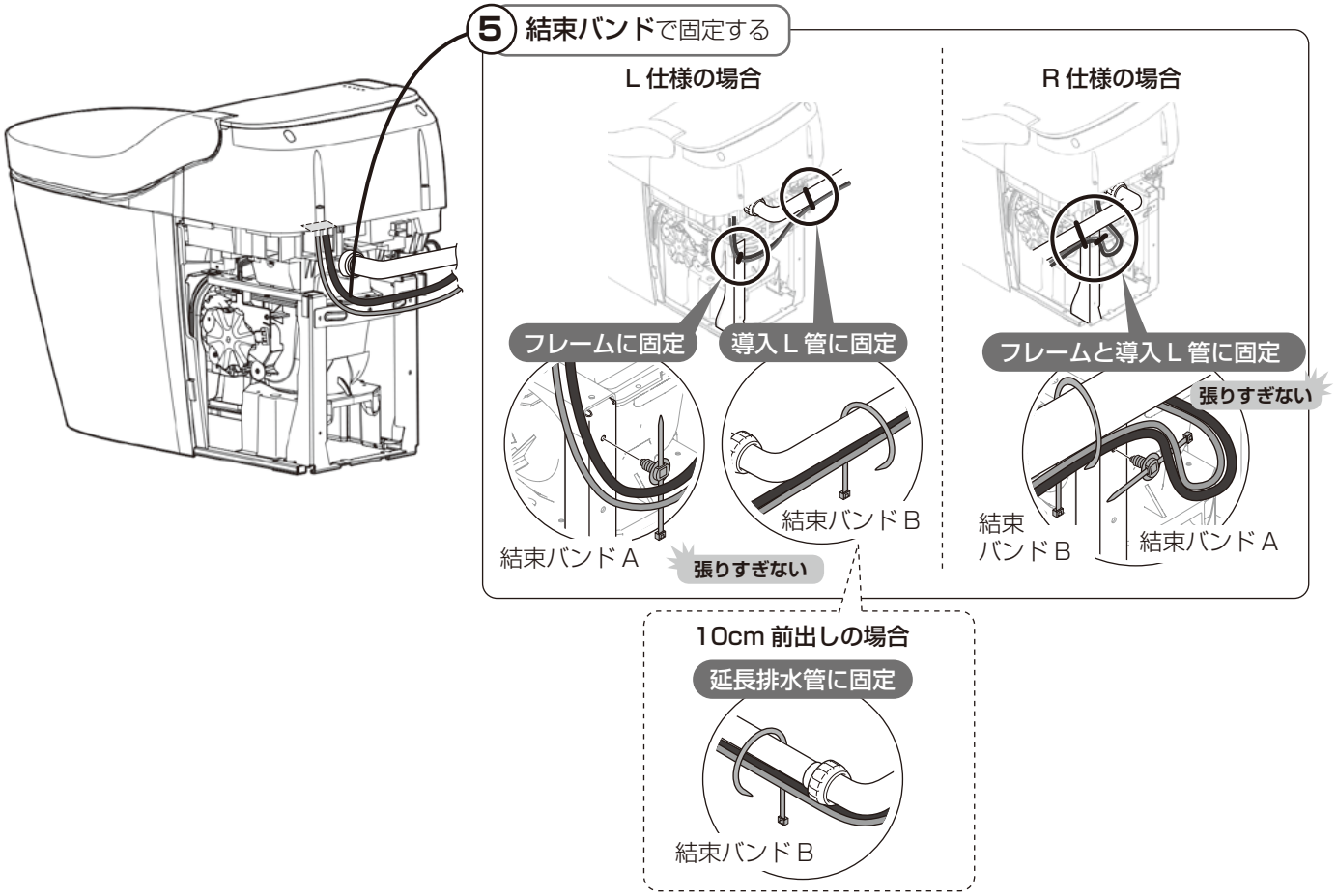




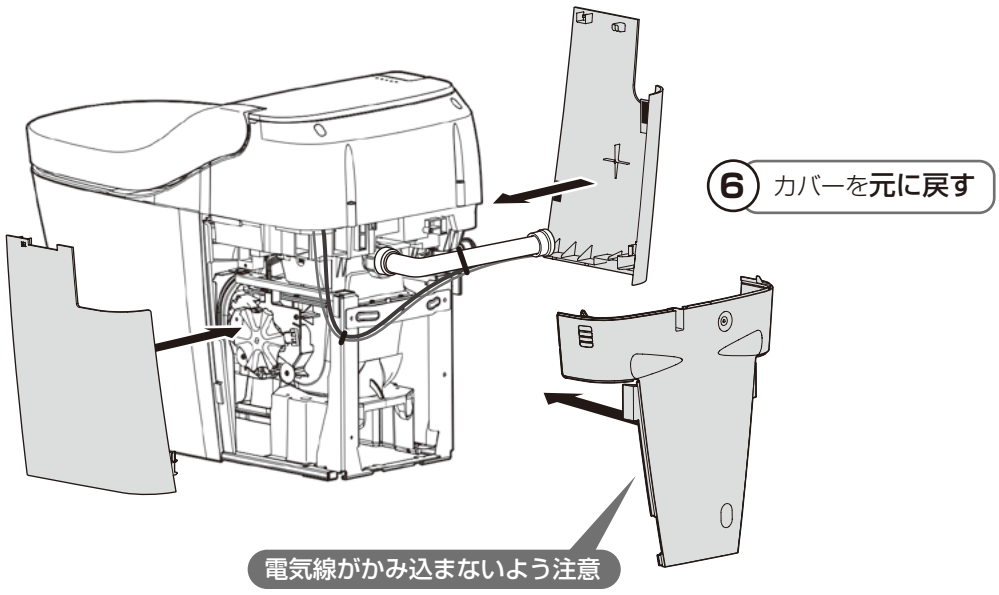
施工手順 L 仕様

CH160 と接続する場合

⑤ 電気線を結束バンドで固定する。
余った部分は切ってください。



⑥ リアカバー、サイドカバーを元に戻す。
導入L管が奥まで差し込まれていないとリアカバーが閉まりません。
リアカバーは、上部を本体に差し込み、たわませて下部をはめてください。



（寸法単位：mm）

6 便器の取り付け

便器の取り付けは、それぞれのアラウーノの施工説明書にしたがって行ってください。

7 電気線の接続

1 電気線を**接続**して**コネクタケース**に収納する

① 中継用電気線と、アラウーノの電気線を「カチッ」と音がするまで接続する。
灰色同士、黒色同士を接続してください。

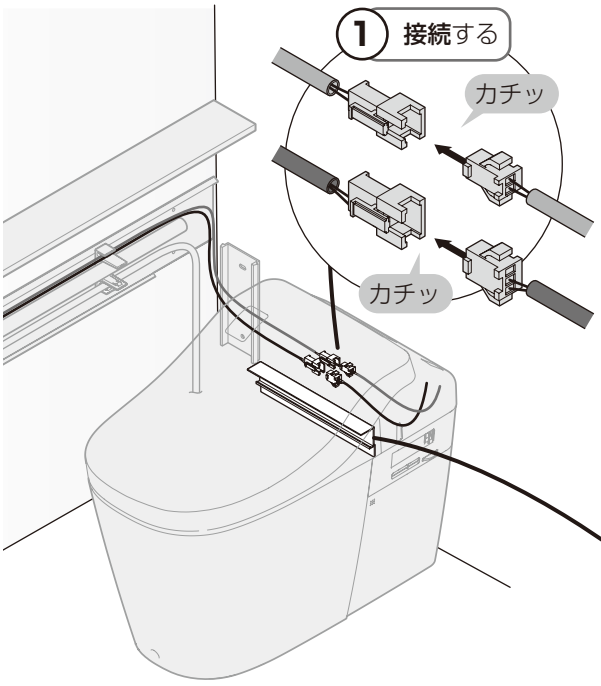
② 電気線をコネクタケースに収納する。

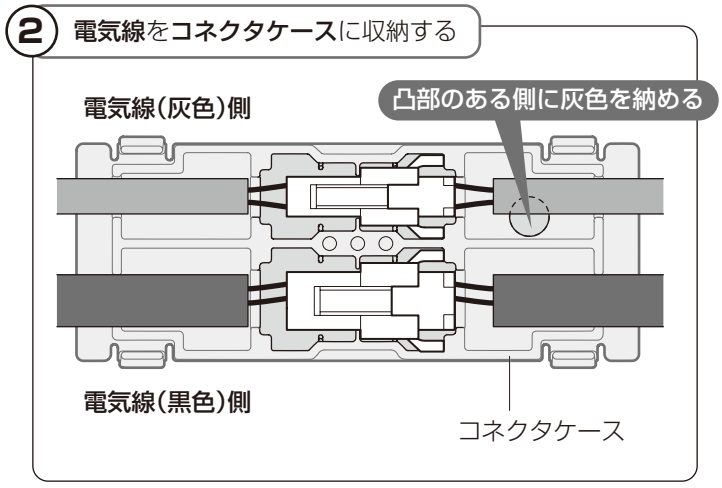
③ コネクタケースを取付プレート（奥横）に取り付ける。

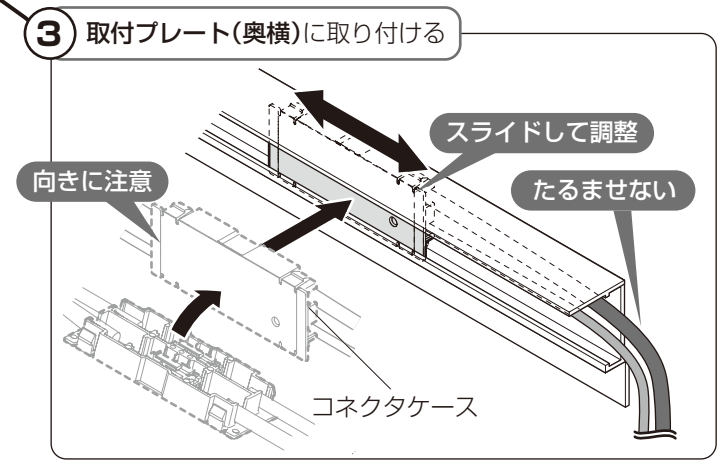
⚠ 警告

必ず守る

● **アラウーノ本体の電源プラグが入っていないことを確認して電気線を接続する**
感電の原因になります。







8 仕上げ

1 L 管とエルボ管を接続する

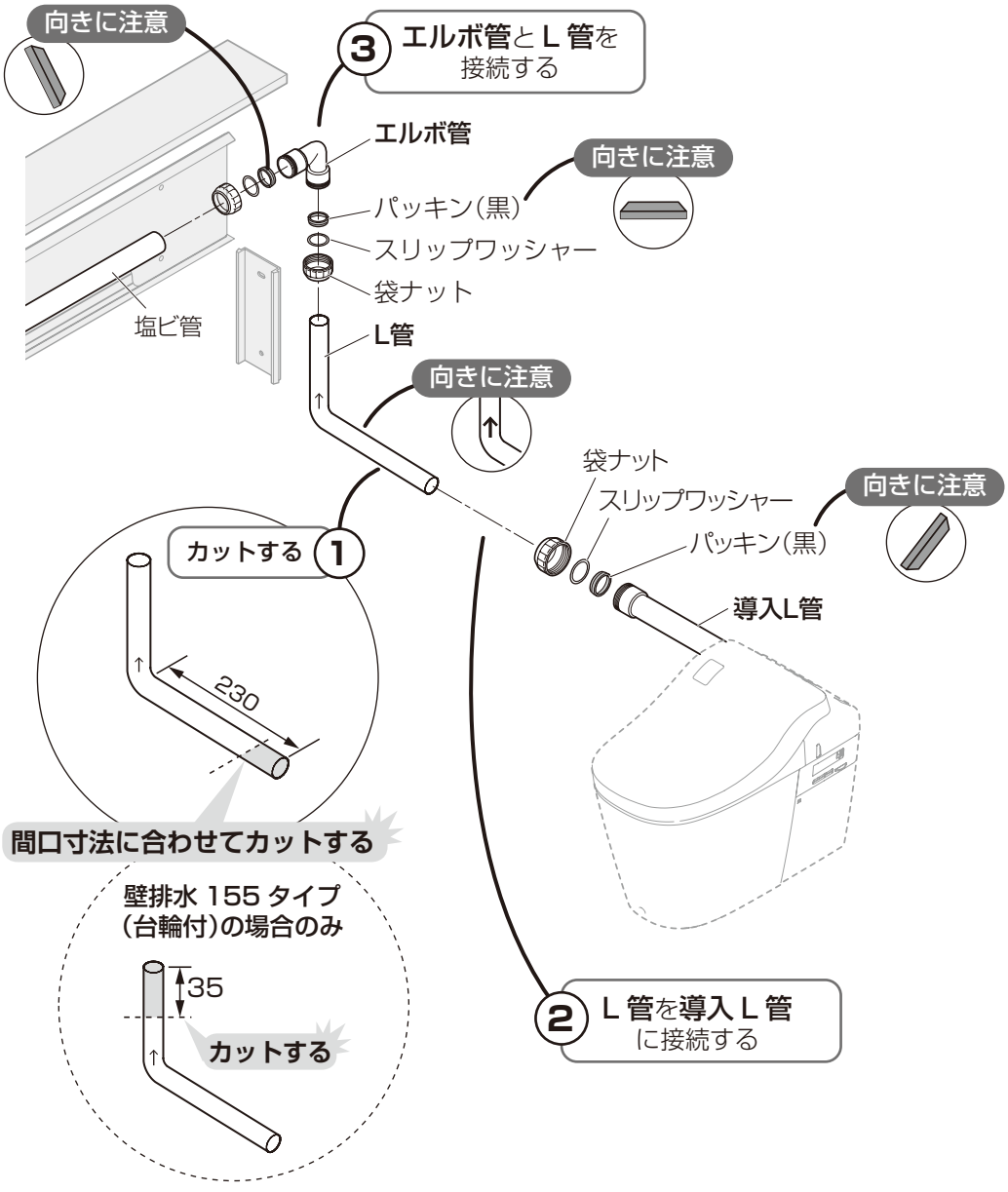
① 間口寸法に合わせてL管をカットする。
・排水管接続部の差し込みしろを十分確保した長さでカットしてください。
・間口寸法が1001mm以上の場合、オプション部材（品番：CH110T08ST）を、別途手配してください。

② L管を便器に取り付けた導入L管に接続する。

③ エルボ管を接続する。

お願い

・逆勾配にならないように注意してください。
・袋ナットをしっかり締めて接続してください。



（寸法単位：mm）

2 電気線をキャビネット内に納める

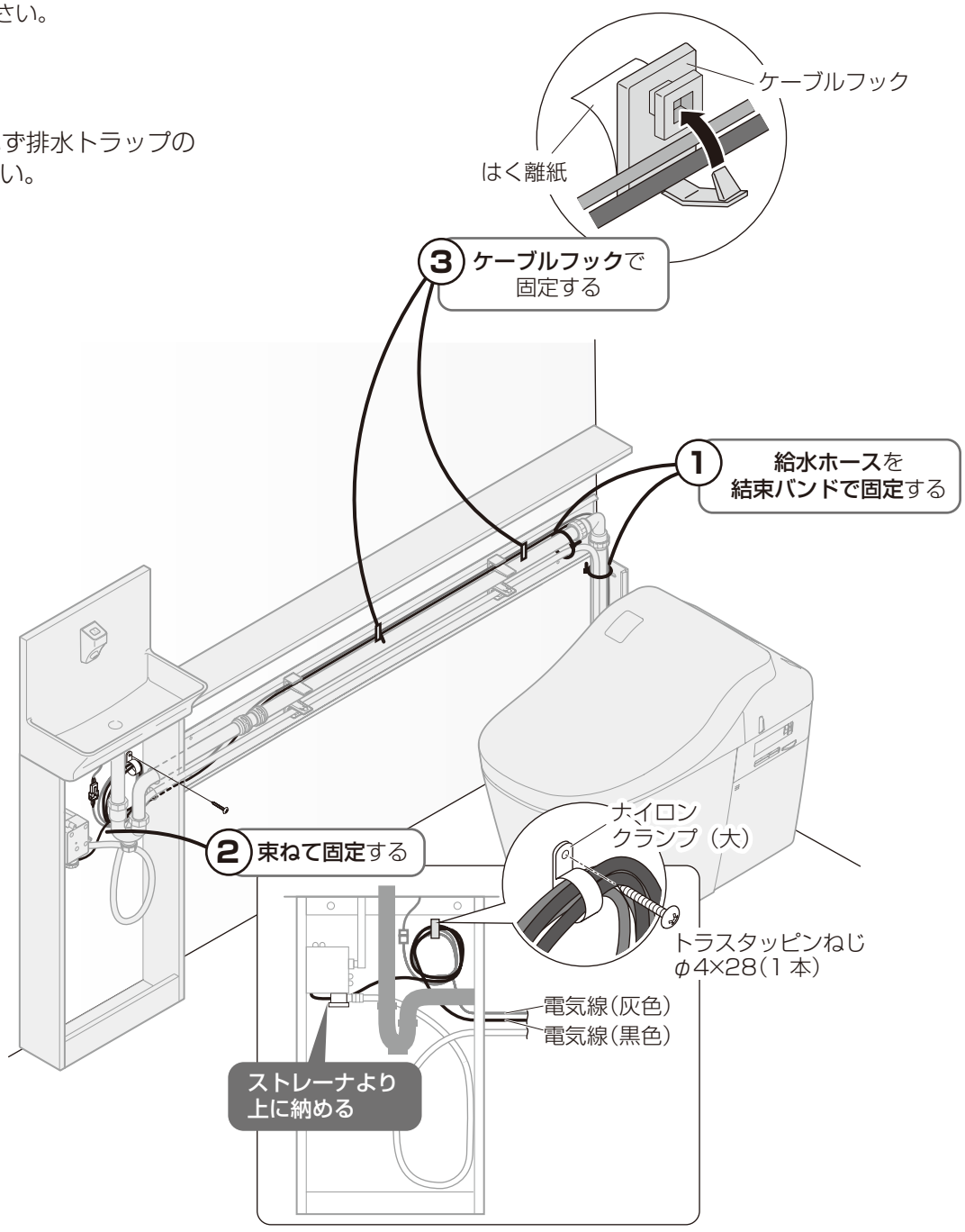
① 給水ホースをL管に結束バンドで固定する。(2か所)

② 電気線(灰色と黒色)を束ねてナイロンクランプで固定する。

③ 電気線をケーブルフックで固定する。(2か所)
ケーブルフックを貼るときは、はがれないように、強く押して貼りつけてください。

お願い

束ねた電気線は、必ず排水トラップの後ろに納めてください。

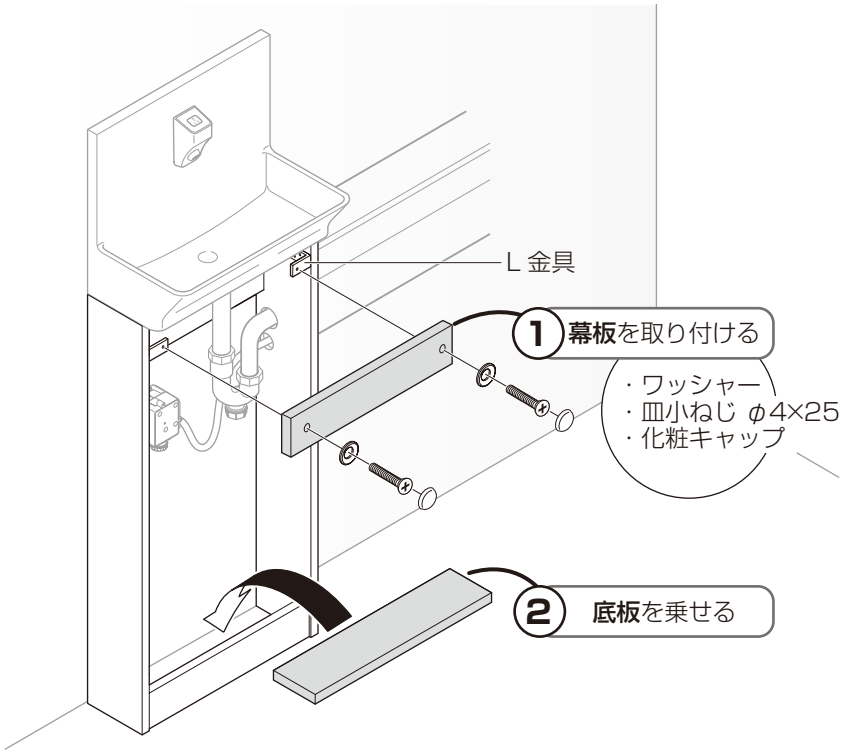


施工手順 L 仕様

3 幕板・底板を取り付ける

① 幕板をL金具にねじで固定する。(2か所)
がたつきのないように取り付けてください。

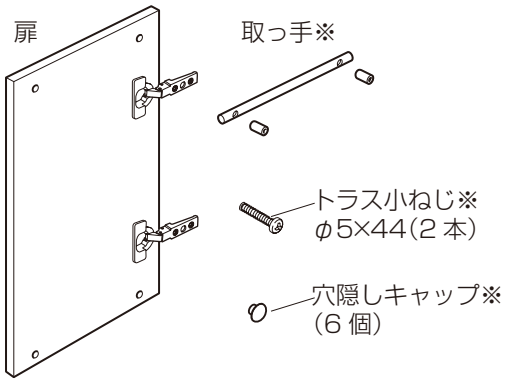
② 底板をキャビネット底部に乗せる。



（寸法単位：mm）

9 扉の取り付け

部品の確認



※GHA1T2RR/GHA1T2LLの場合
取っ手とトラス小ねじ、穴隠しキャップは同梱されません。
手順 2 から作業してください。

1 扉に取っ手を取り付ける

吊元を決めてから、取っ手を取り付けてください。

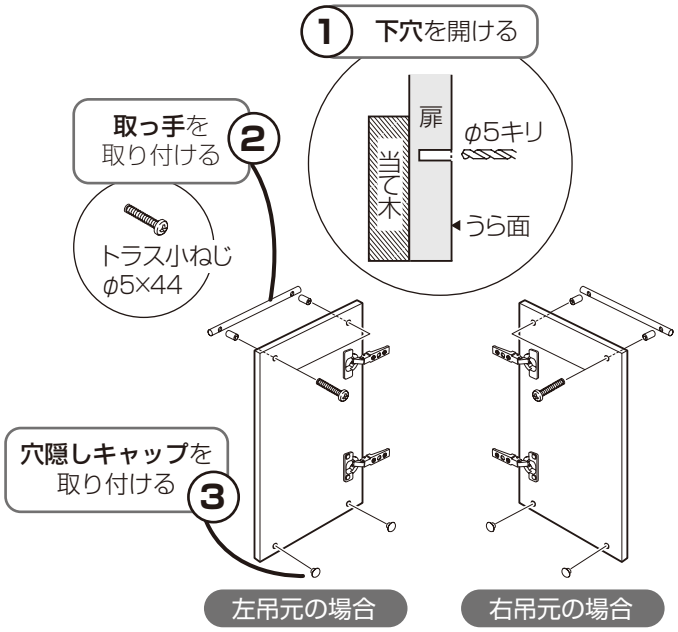
① 扉に下穴を貫通させる。

お願い

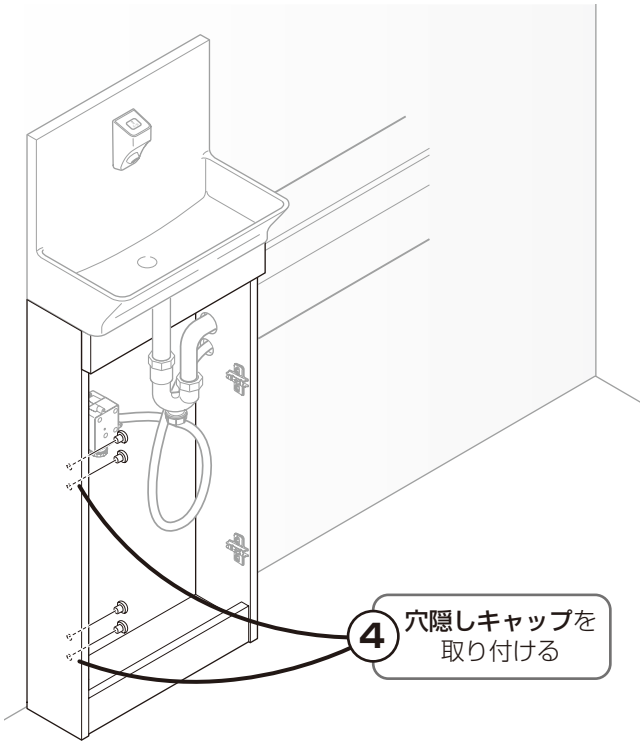
必ず当て木をして、バリ発生を防いでください。

② 取っ手をねじで固定する。（2か所）

③ 不要の穴に穴隠しキャップを取り付ける。



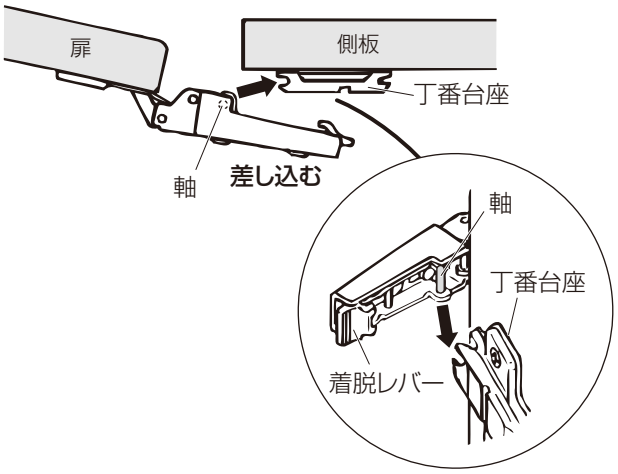
④ 吊り元の反対側の穴に穴隠しキャップを取り付ける。



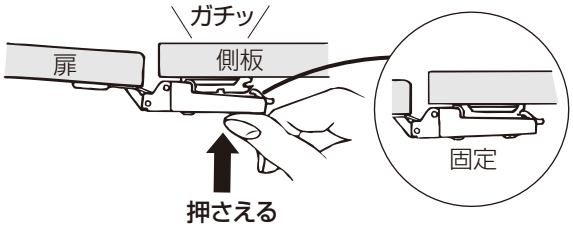
施工手順　L 仕様

2 丁番台座に扉を取り付ける

① 丁番台座に、扉側の軸を差し込む。



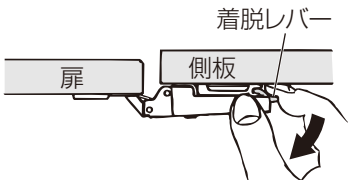
② 着脱レバーを「ガチッ」となるまで押さえる。



③ 扉を持って2〜3回開閉し、丁番が確実に固定されているか確認する。

お願い

・丁番、丁番台座はできるだけ外さないようにしてください。
・扉を取り外す際は、着脱レバーをつまんで外してください。

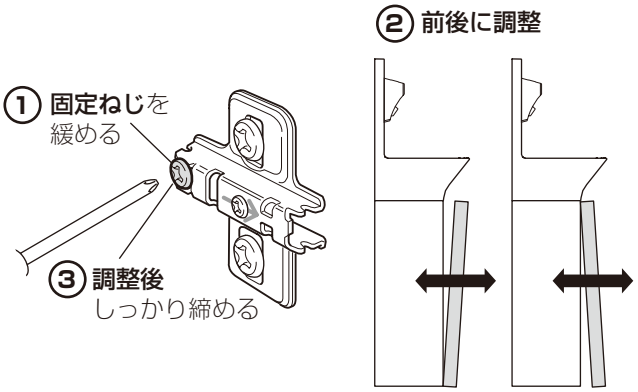


・丁番台座を取り外す際は、側板の穴を傷つけないようにゆっくり外してください。

3 扉の傾きを調整する

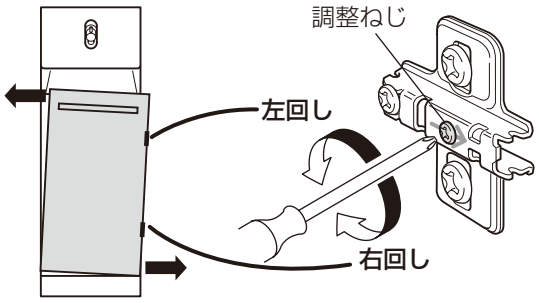
前後の傾き調整

丁番台座の固定ねじを緩めて調整する。
調整後は、再度ねじを締めてください。



左右の傾き調整

丁番台座の調整ねじを回して調整する。



お願い

扉の段違いなどがある場合、正しい位置に調整し、固定ねじに緩みがないかを必ず確認してください。

（寸法単位：mm）

10 アラウーノ本体との連動と試運転

CH150 と接続する場合

※ CH1509 ＊ G の場合、「管理モード」を 5 秒以上押した後に設定を変更してください。

1 アラウーノ本体との連動

① アラウーノ本体の施工説明書に従ってアラウーノ本体への給水と通電を行ってください。

② リモコンでアラウーノの「手洗い有無」の設定を「有」にする。
「手洗い有無」の設定を「有」にすると、手洗いの水が出る設定になります。

ノズル掃除 と 便器水位 を同時に2秒以上押すごとに、「有／無」が切り換わる。

ピー　ピッ
無 ⟷ 有

2 試運転

お願い
初めて吐水するときは、給水ホースの空気も一緒に出るため水が勢いよく飛び出します。
壁や床がぬれないようご注意ください。

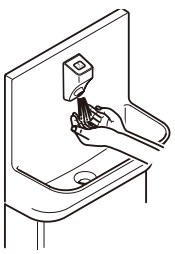
① リモコンの 大 を押す。

② リモコンの 小 を押す。

③ 本体ボタンの 大洗浄 を押す。

お願い
同時に手洗いから吐水されることを確認してください。

④ 手洗いボールの 止/出 を押す。
手洗いから吐水することを確認する。



⑤ 水漏れを確認する。

お願い
配管接続部を増し締めしてください。
緩んでいると、水漏れ拡大損害の原因となります。

低水圧地域の場合　（出荷時設定：連動）

次の場合は手洗い連動モードを**「低水圧」**に設定してください。

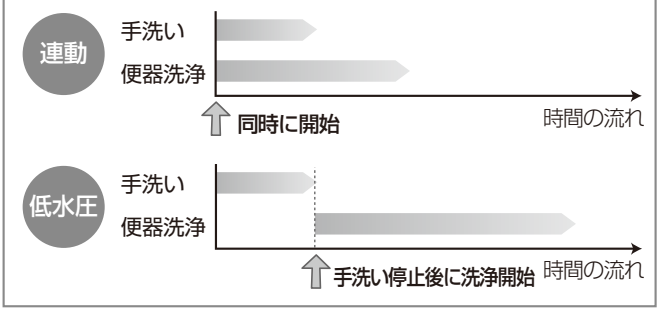
・便器洗浄水の勢いが弱く、便器洗浄水が1周回らないとき。

※設定しないと十分な洗浄水量が得られないため、便やトイレットペーパーが便器洗浄面に残ったり、排水管が詰まることがあります。
※設定を変更しても便器洗浄水が 1 周回らないときは水圧が不足しています。水圧をご確認ください。

ノズル掃除 と ハネ抑制 を同時に2秒以上押すごとに、モードが切り換わる。

ピ　ピピ　ピー
連動 → 低水圧 → 切

●便器洗浄と手洗いの水が出るタイミング



水栓数の変更　（出荷時設定：通常モード）

水道料金の算出にあたり、水栓数の変更が**有効**となる場合に設定してください。
一部の市町村において、本製品の水栓数のカウントは 2 栓となりますが、下記の設定により、1 栓とカウントされる場合があります。

特別モードにすると、手洗いの止/出ボタンの吐水が無効となります。
必ずお使用されるお客様にご説明ください。

便器水位 と ハネ抑制 を同時に2秒以上押す。

ピッ　ピー
通常モード ⟷ 特別モード

施工手順 L 仕様

CH160 と接続する場合

1 アラウーノ本体との連動

① アラウーノ本体の施工説明書に従ってアラウーノ本体への給水と通電を行ってください。

② リモコンでアラウーノの「手洗い有無」の設定を「有」にする。
「手洗い有無」の設定を「有」にすると、手洗いの水が出る設定になります。

フラットリモコン（CH1601）

パワー脱臭 と 便座 を同時に 2 秒以上押すごとに「有／無」が切り換わる。

フラットリモコン（CH1602）

と 便座 を同時に 2 秒以上押すごとに「有／無」が切り換わる。

フラットリモコン（CH160**G）

①「管理モード」を 5 秒以上押す。

② と 便座 を同時に 2 秒以上押すごとに「有／無」が切り換わる。

スティックリモコン（CH1601・CH1602）

DEODORIZING と 便座 温度 を同時に 2 秒以上押すごとに「有／無」が切り換わる。

スティックリモコン（CH160**G）

①「管理モード」を 5 秒以上押す。

② 大 と を同時に 2 秒以上押すごとに「有／無」が切り換わる。

ピー ピッ
無 ⟷ 有

2 試運転

お願い
初めて吐水するときは、給水ホースの空気も一緒に出るため水が勢いよく飛び出します。
壁や床がぬれないようご注意ください。

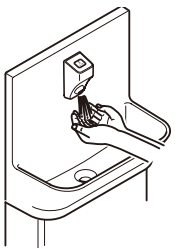
① リモコンの 大 を押す。

② リモコンの 小 を押す。

③ 本体ボタンの 大洗浄 を押す。

お願い
同時に手洗いから吐水されることを確認してください。

④ 手洗いボールの 止/出 を押す。
手洗いから吐水することを確認する。



⑤ 水漏れを確認する。

お願い
配管接続部を増し締めしてください。
緩んでいると、水漏れ拡大損害の原因となります。

（寸法単位：mm）

低水圧地域の場合　（出荷時設定：連動）

次の場合は手洗い連動モードを**「低水圧」**に設定してください。

・便器洗浄水の勢いが弱く、便器洗浄水が1周回らないとき。

※設定しないと十分な洗浄水量が得られないため、便やトイレットペーパーが便器洗浄面に残ったり、排水管が詰まることがあります。

※設定を変更しても便器洗浄水が 1 周回らないときは水圧が不足しています。水圧をご確認ください。

フラットリモコン（CH1601・CH1602）

ノズル除菌 と 温水 を同時に 2 秒以上押すごとに、モードが切り換わる。

フラットリモコン（CH160**G）

① 「管理モード」を 5 秒以上押す。

② ノズル除菌 と 温水 を同時に 2 秒以上押すごとに、モードが切り換わる。

スティックリモコン（CH1601・CH1602）

ノズル除菌 と 温水温度 を同時に 2 秒以上押すごとに、モードが切り換わる。

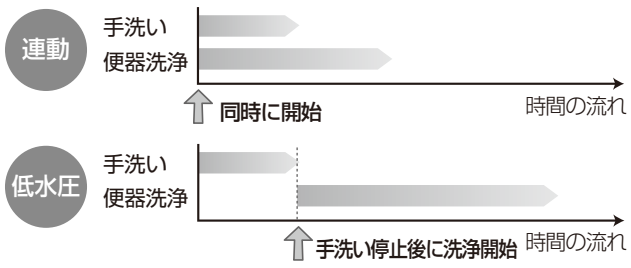
スティックリモコン（CH160**G）

① 「管理モード」を 5 秒以上押す。

② 小 と を同時に 2 秒以上押すごとに、モードが切り換わる。

ピ → 連動 ➡ ピピ → 低水圧 ➡ ピー → 切

●便器洗浄と手洗いの水が出るタイミング



水栓数の変更　（出荷時設定：通常モード）

水道料金の算出にあたり、水栓数の変更が**有効**となる場合に設定してください。

一部の市町村において、本製品の水栓数のカウントは 2 栓となりますが、下記の設定により、1 栓とカウントされる場合があります。

特別モードにすると、手洗いの止/出ボタンの吐水が無効となります。

必ずお使用されるお客様にご説明ください。

フラットリモコン（CH1601）

ノズル除菌 と パワー脱臭 を同時に 2 秒以上押すごとに、モードが切り換わる。

フラットリモコン（CH1602）

ノズル除菌 と を同時に 2 秒以上押すごとに、モードが切り換わる。

フラットリモコン（CH160**G）

①「管理モード」を 5 秒以上押す。

② ノズル除菌 と を同時に 2 秒以上押すごとに、モードが切り換わる。

スティックリモコン（CH1601・CH1602）

DEODORIZING と ノズル除菌 を同時に 2 秒以上押すごとに、モードが切り換わる。

スティックリモコン（CH160**G）

① 「管理モード」を 5 秒以上押す。

② 大 と を同時に 2 秒以上押すごとに、モードが切り換わる。

ピッ 連動モード ⟷ ピー 特別モード

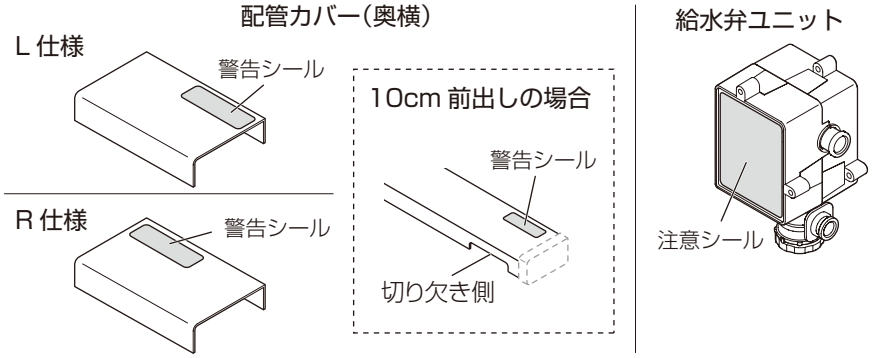
（寸法単位：mm）

11 配管カバーの取り付け

1 ラベルを貼り付ける

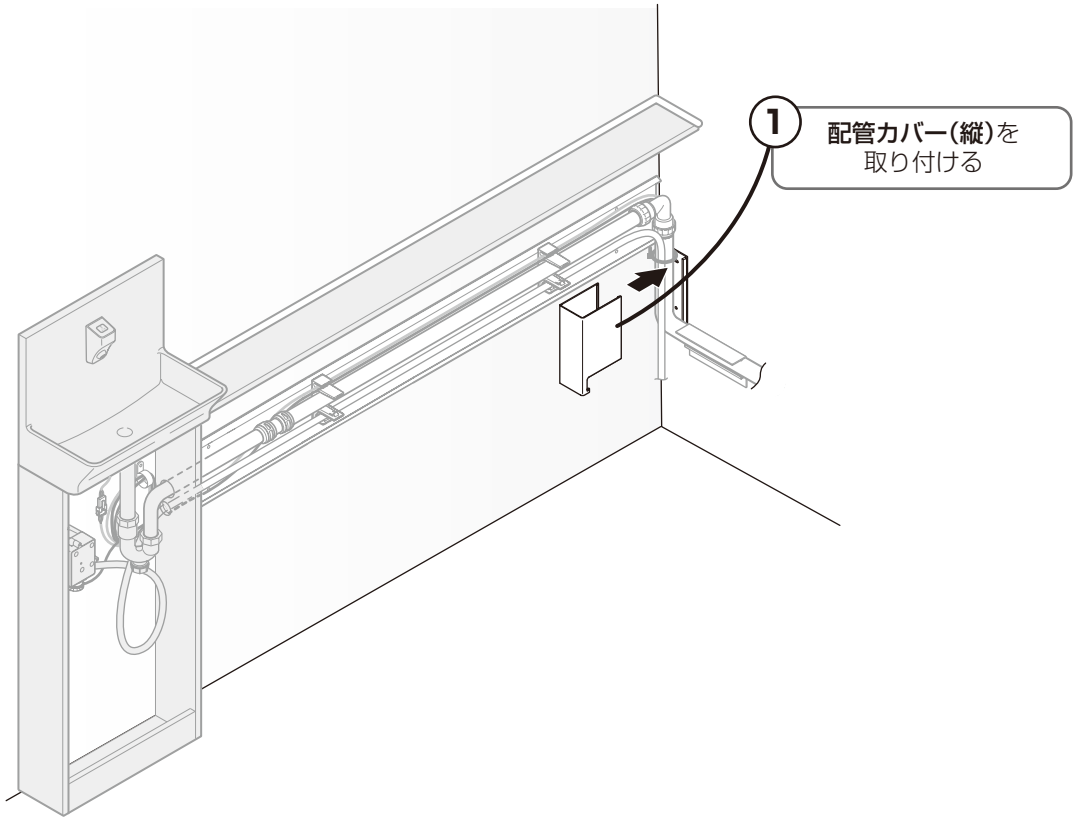
① 配管カバー(奥横)に警告シールを貼り付ける。

② 給水弁ユニットに注意シールを貼り付ける。



2 配管カバーを取り付ける

① 配管カバー(縦)を取り付ける。

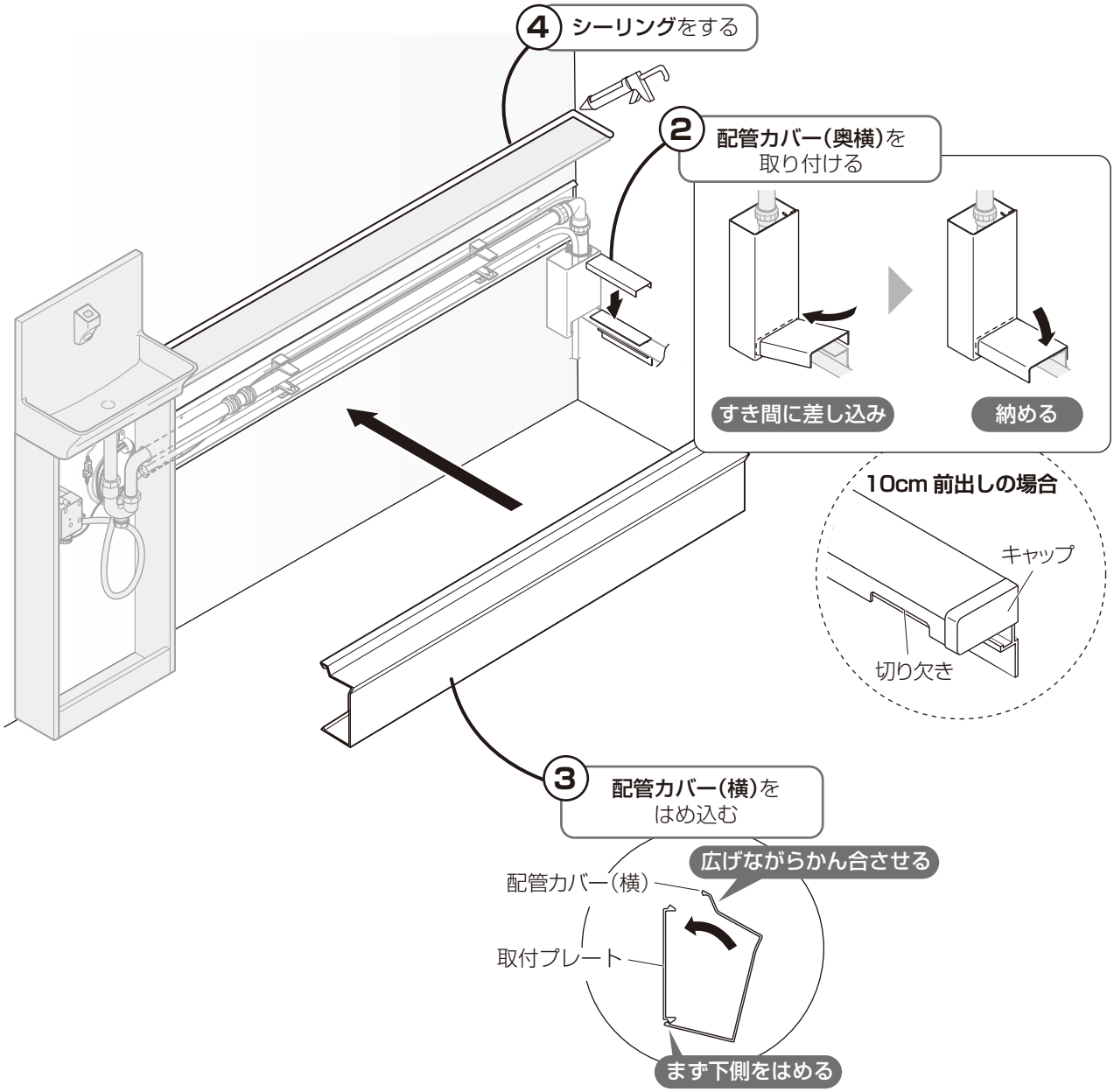


（寸法単位：mm）

② 配管カバー(奥横)を取り付ける。
10cm前出しの場合は、キャップも取り付けてください。

③ 配管カバー(横)の下側を取り付けプレートにはめ、上側を広げながらはめる。

④ カウンターと壁のすき間、カウンターと手洗いボールのすき間をシーリング処理する。



施工完了チェックリスト

施工後、このチェックリストにしたがって施工確認をしていただき、結果を記入のうえ、お客様にお渡しください。

No.	チェック項目	結果
1	キャビネットにがたつきはありませんか？	
2	配管部から水漏れはありませんか？	
3	給水栓から水は出ますか？	
4	扉のがたつきやゆがみはありませんか？	
5	ストレーナーの掃除はしましたか？	
6	アラウーノ本体との連動設定を行いましたか？	

⚠注意

必ず守る

● **凍結のおそれのある地域では、水抜きなどの凍結防止措置を行う**
水漏れなどで家財などに損害を与えるおそれがあります。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2018-2023
2023年12月発行
B0818-6123